

ごあいさつ

平成 23 年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災により、日本のものづくりは大きな被害を受けました。東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射線拡散の影響は、様々な形で今もなお続いています。

埼玉県産業技術総合センター(SAITEC)では、復興支援として平成 23 年 5 月 16 日から被災された地域や県内で製造された工業製品への放射線測定を行い、風評被害の軽減に努めています。さらに、電力不足による節電を余儀なくされる中、省エネサポートチームを編成し工場などへ直接訪問し、県内企業の節電対策に微力ながら支援させていただきました。平成 24 年度においては、電力料金の値上げが実施され、負担が増加しています。企業の負担軽減のため、電力量計やサーモグラフィ、照度計等を使用し、消費電力や熱を数値化することでより具体的な省エネサポートを実施しております。

埼玉県産業技術総合センターは、川口市内 SKIP シティの本所と熊谷市内の北部研究所の 2 拠点体制で、研究開発や技術支援などの産業振興施策事業を展開してまいりました。

また、組織の枠組みを越えた SAITEC 内特別チーム活動として、平成 23 年度には、放射線測定、節電・省エネ、材料等のチームを編成し、喫緊の課題に柔軟に対応いたしました。

平成 23 年度は、技術相談件数 12,821 件、依頼試験件数 22,640 件、機器開放件数 4,110 件、機器開放利用時間 34,204 時間となっており、中小企業の皆様を中心として、数多くの御利用をいただきました。引き続き企業ニーズ・地域ニーズに対応できるよう努めてまいります。

本業務報告は、平成 23 年度埼玉県産業技術総合センターの業務実績を取りまとめたものでございます。御参考にしていただければ幸いです。

平成 24 年 8 月

埼玉県産業技術総合センター  
センター長 牟田口 照恭



# 平成23年度業務報告目次

ごあいさつ	i
<b>1 埼玉県産業技術総合センター概要</b>	<b>1</b>
1.1 沿革	1
1.2 組織と事務分掌	2
1.3 職員	3
1.4 所在地、土地建物	4
1.5 会計	5
1.6 貸会議室等	6
1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等	6
1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数	6
1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数	6
1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数	6
1.7 試験研究設備の整備状況	7
<b>2 技術支援</b>	<b>8</b>
2.1 技術相談・技術指導	8
2.1.1 職員による技術相談・技術指導	8
2.1.2 技術アドバイザー指導事業	10
2.1.3 技術指導フォローアップ事業	11
2.2 依頼試験	12
2.2.1 依頼試験	12
2.2.2 放射線測定依頼試験の開始	13
2.2.3 試験所の登録	13
2.3 機器開放	14
2.3.1 機器開放	14
2.3.2 機器操作技術認定研修	15
2.4 技術普及業務	15
2.4.1 研究成果の技術移転	15
2.4.2 SAITEC 研究発表会	15
2.4.3 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)	16
2.5 次世代自動車研究会の運営	16
2.5.1 車両分解研究会各分科会の名称及び担当者一覧表	16
2.5.2 日産リーフ試乗会の概要	16
2.5.3 講演会および分解車両見学会	16
2.5.4 研究会	16
2.6 技術講習会、講演会の開催	17
2.7 培養酵母の頒布	22
<b>3 研究開発</b>	<b>23</b>
3.1 研究開発	23
3.1.1 政策的研究課題	23
3.1.2 受託研究	24
3.2 研究開発の実用化・商品化	24
3.3 客員研究員	24
3.4 研究成果の公表	25
3.4.1 センター主催の発表	25
3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)	27
3.5 研究課題の評価	30

3.5.1	事前評価	30
3.5.2	事後評価	30
3.5.3	中間評価	30
3.5.4	外部資金研究報告会	30
<b>4</b>	<b>研究開発支援</b>	<b>31</b>
4.1	産学官連携の推進	31
4.1.1	産学官連携推進について	31
4.1.2	産学官連携関連展示会(主催事業)	31
4.1.3	産学官連携に関連する展示会	32
4.1.4	SAITEC 内特別チーム	32
4.2	助成制度への取り組み	34
4.2.1	研究開発型企業支援事業	34
4.2.2	埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績	34
4.3	特許の取得推進とその活用	36
4.3.1	産業財産権の一覧	36
4.3.2	実施許諾	38
<b>5</b>	<b>交流</b>	<b>38</b>
5.1	異業種交流支援事業	38
5.1.1	産学官交流プラザ	38
5.1.2	埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼玉北ネット)	38
5.1.3	埼玉食品テクノプラザ	39
5.1.4	さきたま利根テクノプラザ(STTEP)	40
5.2	新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)	41
5.3	首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表:他県を含む】	43
5.4	RINGS NET(新潟、群馬、埼玉 3 県公設試連携)	45
5.5	講演会等講師派遣	46
5.6	審査会等への派遣	47
5.7	技術評価	48
5.8	会議等への参加	48
<b>6</b>	<b>情報提供</b>	<b>54</b>
6.1	研究報告	54
6.2	利用促進	54
6.2.1	業務報告	54
6.2.2	その他の印刷物の発行	54
6.2.3	インターネットによる技術情報の提供	54
6.2.4	記者発表	54
6.2.5	マスメディア報道	54
6.2.6	県内企業への企業訪問 PR	56
<b>7</b>	<b>起業化支援</b>	<b>57</b>
7.1	入居企業	57
7.2	支援実績	57
<b>8</b>	<b>人材育成</b>	<b>58</b>
8.1	研修生の受け入れ	58
8.1.1	中小企業等研究者養成研修事業	58
8.1.2	インターンシップ事業	58
8.1.3	平成 23 年度鑄造カレッジ事業(関東地区)インターンシップ	59
8.1.4	県立高等技術専門校との連携研修	59
8.2	技術競技会	60
8.2.1	第 47 回埼玉県鑄造技術コンクール	60

8.2.2	平成 23 年度(第 54 回)埼玉県めつき技術競技会.....	61
8.2.3	平成 23 酒造年度春季清酒鑑評会 .....	61
8.3	ものづくり開発支援研修 .....	62
8.4	科学技術体験学習の実施 .....	63
8.4.1	スーパーサイエンスハイスクール事業.....	63
<b>9</b>	<b>その他の事業 .....</b>	<b>64</b>
9.1	職員研修 .....	64
9.2	顧客満足度(CS)アンケート.....	66
9.3	運営委員会の開催 .....	66
9.3.1	開催状況 .....	66
9.3.2	運営委員 .....	67

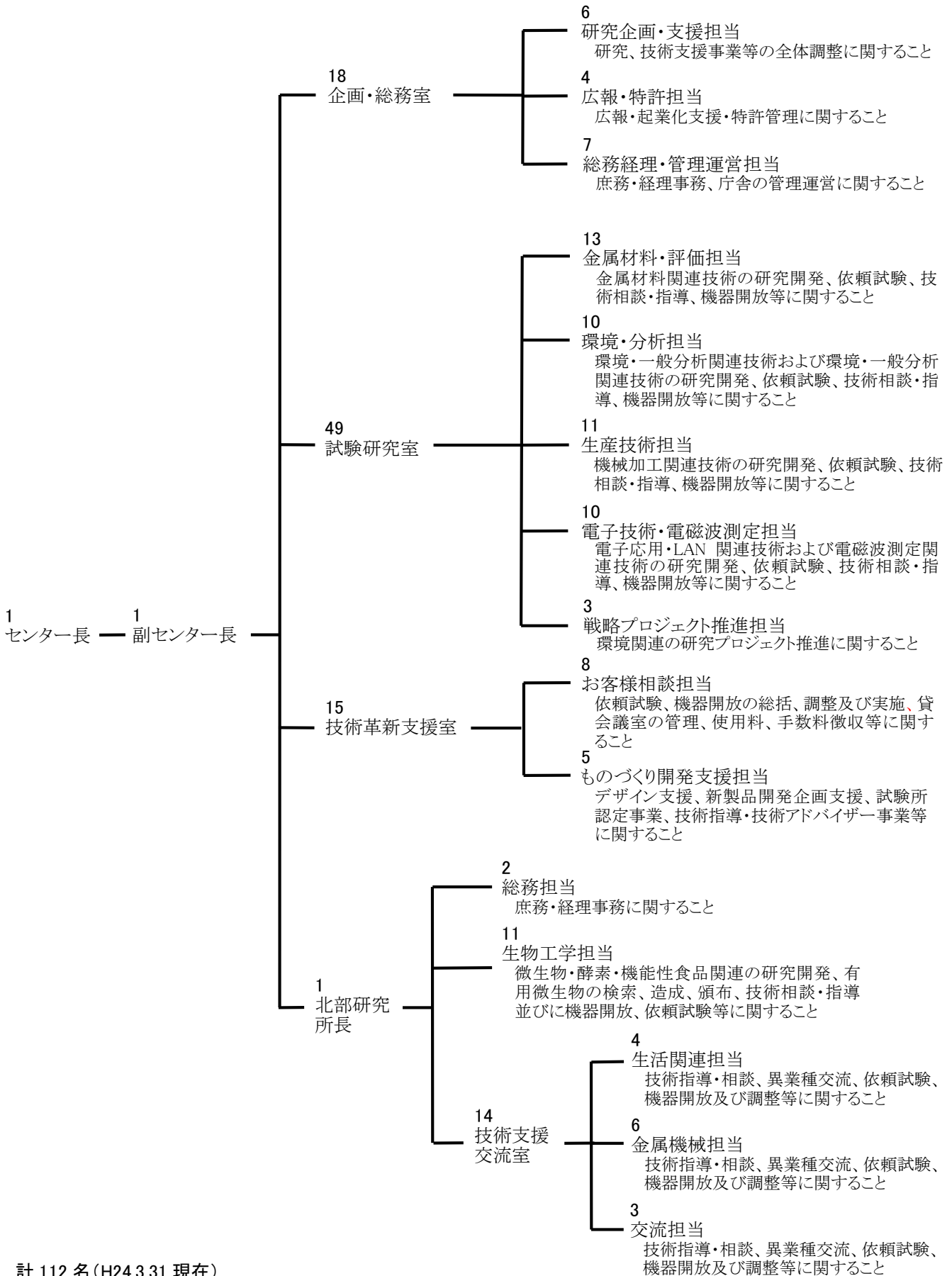


# 1 埼玉県産業技術総合センター概要

## 1.1 沿革

大正10年	埼玉県熊谷工業試験場設立、庶務部、染色部及び機織部の3部を設置
大正11年	整理部を増設し4部となる
大正12年	図案部を増設し5部となる
昭和 5年	醸造部を増設し(昭和21年に技術部に改称)6部となる 埼玉県秩父工業試験場設立、熊谷工業試験場の機織部及び図案部を移転
昭和 6年	埼玉県熊谷工業試験場浦和分場を設置し整理部を移転
昭和 8年	埼玉県川口鋳物工業試験場設立
昭和 9年	浦和分場を埼玉県染色試験場と改称し熊谷工業試験場の染色部を移転、 熊谷工業試験場は名称を埼玉県醸造試験場と改称
昭和11年	埼玉県小川製紙研究所設立
昭和12年	埼玉県仏子染織指導所設立 埼玉県秩父工業試験場を埼玉県秩父染織指導所と改称 埼玉県川口鋳物工業試験場を埼玉県川口重工業指導所と改称 埼玉県醸造試験場に染色部を再設置し(昭和18年に廃止)、埼玉県熊谷醸造指導所と改称 埼玉県小川製紙研究所を埼玉県小川製紙指導所と改称
昭和19年	埼玉県熊谷醸造指導所を埼玉県醸造指導所と改称 埼玉県秩父染織指導所を埼玉県秩父工業指導所と改称 埼玉県仏子染織指導所を埼玉県繊維工業指導所と改称 埼玉県小川製紙指導所を埼玉県製紙工業指導所と改称
昭和20年	埼玉県川口重工業指導所を埼玉県鋳物指導所と改称
昭和24年	埼玉県行田繊維工業指導所設立
昭和31年	埼玉県醸造指導所を埼玉県醸造試験場と改称 埼玉県秩父工業指導所を埼玉県秩父繊維工業試験場と改称 埼玉県繊維工業指導所を埼玉県繊維工業試験場と改称 埼玉県行田繊維工業指導所を埼玉県行田繊維工業試験場と改称 埼玉県製紙工業指導所を埼玉県製紙工業試験場と改称 埼玉県鋳物指導所を埼玉県鋳物工業試験場と改称
昭和36年	埼玉県デザインセンターを大宮市の埼玉県商工会館内に設置
昭和38年	埼玉県鋳物工業試験場を川口市本町から川口市芝に移転し、埼玉県鋳物機械工業試験場と改称
昭和42年	埼玉県工芸試験場を浦和市に設立、デザインセンターを廃止
昭和47年	醸造試験場の建設工事竣工、埼玉県食品工業試験場と改称
昭和58年	埼玉県工芸試験場を埼玉県工業技術研究所に改称 埼玉県行田繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場に、埼玉県繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場入間支場に、埼玉県秩父繊維工業試験場は埼玉県繊維工業試験場秩父支場に改組
平成 7年	鋳物機械工業試験場において、新技術事業団(現(独)科学技術振興機構)及び科学技術庁金属材料研究所との共同研究を開始するため、新技術事業団埼玉研究室及び新技術事業団のプレハブ実験棟を設置
平成10年	5研究機関7施設を再編・統合し、埼玉県工業技術センター設立 本所(川口市・旧鋳物機械工業試験場)、南部研究所(浦和市・旧工業技術研究所)及び北部研究所(熊谷市・旧食品工業試験場)の3施設を設置
平成15年	埼玉県工業技術センターを廃止し、埼玉県産業技術総合センター設立 埼玉県産業技術総合センター(川口市)及び埼玉県産業技術総合センター 北部研究所(熊谷市・旧埼玉県工業技術センター北部研究所)の2施設を設置

## 1.2 組織と事務分掌





### 1.3 職員

センター長（事）	牟田口 照 恭
副センター長兼企画・総務室長（事）	鈴木 康 之

本 所

企画・総務室		副 室 長（事）	大 山 亨
研究企画・支援担当		担 当 部 長（技）	卷 島 秀 男
担 当 部 長（技）	高 橋 利 男	担 当 部 長（技）	細 野 光 広
主 任（技）	鈴 木 浩 之	主 任（技）	森 田 寛 之
技 師	清 野 弘 孝		
広報・特許担当		担 当 部 長（技）	宮 原 進
担 当 課 長（事）	高 杉 健 五	専 門 研 究 員（技）	原 田 勝 利
専 門 研 究 員（技）	小 口 正 浩		
総務経理・管理運営担当		担 当 部 長（事）	山 岸 善 行
担 当 課 長（事）	長 島 立 人	主 任（事）	三 田 和 明
主 任（事）	籠 将 威	主 任（事）	井 上 香
主 任（事）	永 瀬 玲 子	主 任（事）	荻 原 弘 之
試験研究室		室 長（技）	北 村 英 三
副 室 長（技）	戸 枝 保		
金属材料・評価担当		担 当 部 長（技）	笹 川 俊 夫
担 当 部 長（技）	澁 谷 康 彦	担 当 部 長（技）	永 野 正 明
主任 研究員（技）	永 井 寛	主任 研究員（技）	福 島 泰 年
専 門 研 究 員（技）	矢 澤 貞 春	専 門 研 究 員（技）	篠 崎 誠
専 門 研 究 員（技）	進 藤 久 宜	専 門 研 究 員（技）	清 水 宏 一
主 任（技）	井 上 裕 之	主 任（技）	秋 山 稔
主 任（技）	菊 池 和 尚	技 師	原 田 雅 典
環境・分析担当		担 当 部 長（技）	赤 澤 力
専 門 研 究 員（技）	鈴 木 昌 資	専 門 研 究 員（技）	唐 牛 聖 文
専 門 研 究 員（技）	奥 野 慎	専 門 研 究 員（技）	熊 谷 知 哉
主 任（技）	佐 野 勝	主 任（技）	灘 野 朋 美
主 任（技）	坂 本 大 輔	主 任（技）	斎 田 吉 裕
主 任（技）	地 形 祐 司		
生産技術担当		担 当 部 長（技）	麻 生 信 之
担 当 部 長（技）	関 根 正 裕	専 門 研 究 員（技）	出 口 貴 久
専 門 研 究 員（技）	小 熊 広 之	専 門 研 究 員（技）	宇 野 彰 一
主 任（技）	南 部 洋 平	主 任（技）	島 崎 景 正
主 任（技）	山 田 岳 大	技 師	落 合 一 裕
技 師	信 本 康 男	技 師	蓮 俊 介
電子技術・電磁波測定担当		担 当 部 長（技）	安 藤 昌 弘
専 門 研 究 員（技）	荻 野 重 人	専 門 研 究 員（技）	内 藤 丈 資
主 任（技）	能 戸 崇 行	主 任（技）	本 多 春 樹
主 任（技）	田 中 智 大	主 任（技）	宗 形 隆 史
技 師	岩 崎 正 太	技 師	矢 部 友 哉
技 師	岡 林 美 由 貴		
戦略プロジェクト推進担当		主 任（技）	栗 原 英 紀
主 任（技）	半 田 隆 志	技 師	稲 本 将 史

技術革新支援室		室長(技)	新井尚機
副室長(技)	小林孝司		
お客様相談担当		担当部長(事)	木下俊夫
主任(事)	瓜生田純	主任(事)	木部繭子
専門員(技)	白山琢持	専門員(事)	高橋和人
専門員(技)	石橋健司	専門員(技)	棚橋綱男
専門員(技)	大川薫		
ものづくり開発支援担当		担当部長(技)	影山和則
担当部長(技)	町田芳明	担当部長(技)	増田こずえ
担当部長(技)	名倉寿夫	専門研究員(技)	山川徹郎

#### 北部研究所

所長(技)	齊藤弘美		
総務担当		担当部長(事)	村田恵美子
主任(事)	今井精一		
生物工学担当		担当部長(技)	小島登貴子
主任研究員(技)	横堀正敏	専門研究員(技)	細井永次
主任(技)	常見崇史	主任(技)	樋口誠一
主任(技)	富永達矢	主任(技)	鶴藺大
主任(技)	海野まりえ	技師	南澤賢
技師	成澤朋之	技師	鈴木康修
技術支援交流室		室長(技)	増田伸二
生活関連担当		担当部長(技)	高柳博通
担当部長(技)	竹内了	担当部長(技)	高橋広子
主任研究員(技)	清水英明		
機械金属担当		担当部長(技)	小林茂
主任研究員(技)	山口葉子	専門研究員(技)	大木健司
主任(技)	鈴木理博	技師	飯塚真也
専門員(技)	簗輪幸三		
交流担当		担当部長(事)	高木利光
専門員(技)	持田紀久雄	専門員(技)	村田一英

(H24.3.31 現在)

## 1.4 所在地、土地建物

- ◆ 埼玉県産業技術総合センター
 

所在地	川口市上青木三丁目12番18号	
土地		18,352.58 平方メートル
建物		
	埼玉県産業技術総合センター	27,287.63 平方メートル
	埼玉県生活科学センター	4,420.30 平方メートル
	川口市立科学館	3,784.61 平方メートル
	合計	35,492.54 平方メートル
構造	地上9階/地下1階	
  
- ◆ 北部研究所
 

所在地	熊谷市末広二丁目133番地	
土地		5,923.30 平方メートル
建物		
	本館	1,687.92 平方メートル
	試験棟	494.27 平方メートル
	新館	602.84 平方メートル
	試験棟	312.86 平方メートル
	その他	73.60 平方メートル
	合計	3,171.49 平方メートル

## 1.5 会計

歳入

(単位:円)

科 目	本 所	北 部	合 計
使用料及び手数料	203,463,367	11,260,333	214,723,700
使用料	134,630,667	3,625,633	138,256,300
行政財産使用料	38,760,866	532,213	39,293,079
商工業使用料	95,869,801	3,093,420	98,963,221
手数料	68,832,700	7,634,700	76,467,400
商工業手数料	68,832,700	7,634,700	76,467,400
財産収入	16,518,410	551,000	17,069,410
財産運用収入	16,490,522	0	16,490,522
財産貸付収入	16,490,522	0	16,490,522
財産売払収入	27,888	551,000	578,888
物品売払収入	27,888	0	27,888
生産物売払収入	0	551,000	551,000
諸収入	28,714,710	3,334,900	32,049,610
受託事業収入	14,563,950	2,856,900	17,420,850
商工受託事業収入	14,563,950	2,856,900	17,420,850
雑入	14,150,760	478,000	14,628,760
違約金延納利息	0	0	0
雑入	14,150,760	478,000	14,628,760
合 計	248,696,487	15,146,233	263,842,720

歳出

(単位:円)

科 目	本 所	北 部	合 計
総務費	36,516,506	203,670	36,720,176
総務管理費	82,492	203,670	286,162
一般管理費	10,000	45,000	55,000
人事管理費	72,492	63,120	135,612
財産管理費	0	95,550	95,550
県民費	36,434,014	0	36,434,014
消費者対策費	36,434,014	0	36,434,014
民生費	353,640	174,940	528,580
災害救助費	353,640	174,940	528,580
救助費	353,640	174,940	528,580
労働費	62,156	8,662	70,818
労政費	62,156	8,662	70,818
労政総務費	62,156	8,662	70,818
商工費	401,318,013	54,818,889	456,136,902
商工業費	401,318,013	54,818,889	456,136,902
商工総務費	4,433,067	2,673,549	7,106,616
商工振興費	2,948,360	707,490	3,655,850
産業技術総合センター費	393,936,586	51,437,850	445,374,436
合 計	438,250,315	55,206,161	493,456,467

## 1.6 貸会議室等

### 1.6.1 多目的ホール、会議室の使用料等

(円)

階	区分 施設名	面積 (m <sup>2</sup> )	定員 (人)	午 前	午 後	夜 間	超 過 (1時間)
1	多目的ホール1	199.64	130	6,180	8,240	6,180	2,060
1	多目的ホール2	273.92	170	8,480	11,300	8,480	2,820
3	3A会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
3	3B会議室	66.46	30	2,050	2,740	2,050	680
4	4A会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4B会議室	66.46	33	2,050	2,740	2,050	680
4	4C会議室	70.92	33	2,190	2,920	2,190	730

### 1.6.2 多目的ホール、会議室の利用件数、利用人数

	利用件数(件)				利用人数(人)			
	午 前	午 後	夜 間	計	午 前	午 後	夜 間	計
多目的ホール1	129	133	79	341	24,283	24,198	16,610	65,091
多目的ホール2	130	122	77	329	24,870	23,670	16,814	65,354
3A会議室	101	122	52	275	3,389	3,797	1,938	9,124
3B会議室	104	129	53	286	3,204	3,823	1,930	8,957
4A会議室	110	150	91	351	2,955	3,804	2,228	8,987
4B会議室	97	139	83	319	2,649	3,593	2,024	8,266
4C会議室	69	99	60	228	1,894	2,561	1,403	5,858
合 計	740	894	495	2,129	63,244	65,446	42,947	171,637

### 1.6.3 多目的ホール、会議室の利用者別利用件数

	県	川口市	その他 官公庁	公社 公団	入居商 工団体	他の商 工団体	民間 事業所	その他	合計
件 数	235	29	374	3	181	82	854	371	2,129
百分比(%)	11.0	1.4	17.6	0.1	8.5	3.9	40.1	17.4	100

### 1.6.4 多目的ホール、会議室の利用目的別利用件数

	会議	研修会	講演会	大会	展示会	その他	合計
件 数	616	584	54	83	28	764	2,129
百分比(%)	28.9	27.4	2.5	3.9	1.3	35.9	100

## 1.7 試験研究設備の整備状況

### 新規購入機械器具

品名	数量	銘柄・規格等	設置場所
恒温恒湿槽 ※	1	エスペック(株) PL-2KPH(180℃仕様)	本所
顕微赤外分光分析装置 ※	1	サーモフィッシャー Nicolet iN10 MX/iz10	本所
電磁波試験機測定装置 ※	1	アジレントテクノロジー(株) N9038A-508 他	本所
サーベイメータ	2	富士電機(株) / NHJ2	本所
クランプセット	1	Witte BasePlate AF25 他	本所
サーマルフォトプリンタ	1	FUJI ASK-4000A	本所
電力計	1	日置電機 3169-01	本所
電力計	1	日置電機 3168	本所
分光光度計	1	島津製作所 UV-3600	北部研究所
サーベイメータ	1	富士電機(株) NHJ2	北部研究所
サーベイメータ	1	日立アロカメディカル TCS-172B	北部研究所
精密ステージ	1	中央精機 RS-147-2 他	北部研究所
クランプセット	1	Witte ALUP1X 25 シリーズ	北部研究所
乾燥機	2	アズワン MOV-4508	北部研究所

※ 財団法人 JKA の「公設試験研究所設備拡充補助事業」による

## 2 技術支援

中小企業の技術支援のため、技術相談・技術指導、企業からの依頼に応じた依頼試験、試験研究機器の開放等を行うとともに、研究発表会等により技術の普及に努めた。また、(財)埼玉県産業振興公社と共同で次世代自動車研究会を運営し、電気自動車の分解展示等を行った。

### 2.1 技術相談・技術指導

中小企業の生産活動における技術的問題の解決、新製品や新商品の開発等を支援するため、当センター職員による相談・指導及び外部の技術専門家、技術アドバイザー等による技術相談・指導を実施した。

#### 2.1.1 職員による技術相談・技術指導

本所

分類	項目	相談件数
機械関連	切削に関すること	555
	特殊加工に関すること	75
	設計に関すること	1
	精密測定に関すること	1,069
鋳物関連	鉄鋳物に関すること	126
	非鉄鋳物に関すること	33
	鋳型・鋳造方案に関すること	17
	鋳物不良対策に関すること	12
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	72
	腐食、防食に関すること	366
	熱処理に関すること	108
	塗装技術に関すること	5
材料試験・組織等	成分分析(金属)に関すること	452
	成分分析(非金属)に関すること	892
	材料強度等に関すること	659
	材料の物性、工業規格に関すること	231
	顕微鏡組織観察等に関すること	694
	材料のクレーム対策に関すること	11
	非破壊検査に関すること	84
電気・電子・制御関連	自動化、省力化に関すること	1
	制御技術に関すること	15
	電気、電子技術に関すること	1,142
窯業関連	窯業(製造)技術に関すること	8
	セラミックス技術に関すること	0
プラスチック関連	プラスチック技術に関すること	143
	複合・接着技術に関すること	1
デザイン関連	商品企画に関すること	1
	プロダクトデザインに関すること	298
	グラフィックデザインに関すること	2
福祉技術関連	福祉・リハビリテーション用具に関すること	61
環境技術関連	再資源化に関すること	27
	廃棄物処理に関すること	25
	環境等に関すること	43
	環境浄化技術に関すること	62
	省エネ技術に関すること	43
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	87
	機器操作に関すること	98
	製品開発に関すること	9
	生産技術に関すること	4
	材料・製品試験に関すること	178
	講習会、研修会等に関すること	31
	アドバイザー指導等に関すること	8
	異業種交流に関すること	1
	情報検索に関すること	2
	特許に関すること	1
	制度融資、補助金等に関すること	14
	その他上記以外の事項	838
小計 (うち実地指導件数)		8,605 (2,525)

北部研究所

分類	項目	相談件数
分析関連	組成・物性に関すること	79
	素材分析に関すること	291
	成分分析(金属)に関すること	70
	成分分析(非金属)に関すること	54
繊維・デザイン関連	染色加工等に関すること	5
	印刷技術に関すること	0
	染色堅ろう度等に関すること	65
	型紙調整等に関すること	6
	デザイン等に関すること	319
食品関連	酒類の製造に関すること	580
	穀類食品の製造に関すること	181
	調味料の製造に関すること	12
	漬物の製造に関すること	19
	その他食品の製造に関すること	78
	食品成分に関すること	23
	食品素材に関すること	37
	微生物・酵素に関すること	209
食品分析に関すること	149	
素材関連	原材料・薬剤・原料調整に関すること	27
	素材の応用技術に関すること	152
設計・生産関連	切削に関すること	0
	特殊加工(機械等)に関すること	1
	設計に関すること	9
	精密測定に関すること	194
	生産技術(機械等)に関すること	3
	材料・製品試験(機械等)に関すること	20
表面処理・熱処理関連	金属表面処理に関すること	11
	腐食・防食に関すること	73
	熱処理に関すること	34
	塗装技術に関すること	0
材料試験・組織等	材料の強度等に関すること	174
	材料の物性・工業規格に関すること	150
	顕微鏡組織観察等に関すること	55
	材料のクレーム対策に関すること	3
	非破壊検査に関すること	1
環境技術関連	再資源化に関すること	2
	省エネ技術に関すること	90
情報・共通関連	技術情報一般に関すること	63
	機器操作に関すること	127
	コンピュータ等に関すること	14
	講習会・研究会・鑑評会に関すること	93
	技術アドバイザー指導等に関すること	12
	異業種交流に関すること	15
	法規・規格・表示に関すること	6
	産業情報等の提供に関すること	21
	行政情報等の提供に関すること	29
	その他上記以外の事項	660
小計 (うち実地指導件数)		4,216 (798)

機関名	相談件数 (うち実地指導件数)
本所	8,605(2,525)
北部研究所	4,216(798)
合計	12,821(3,323)

### 2.1.2 技術アドバイザー指導事業

県内中小企業等の技術的課題を解決するため、依頼のあった企業に技術アドバイザーを派遣した。その主な成果は、次のとおりである。

- 鋳造不良の問題解決について有益な助言が得られた。
- 自社開発製品について有益な助言が得られた。
- ISO 取得について有益な助言が得られた。
- 工場の衛生管理、省エネについて有益な助言が得られた。
- 常務の自動化について有益な助言が得られた。

#### ○ 技術アドバイザー指導件数

##### 本所

産業分野	企業数
はん用機械器具製造業	1
輸送用機械器具製造業	1
業務用機械器具製造業	1
電子部品・デバイス・電子回路製造業	4
生産用機械器具製造業	1
食料品製造業	2
ボルト・ナット・リベット・小ねじ・木ねじ等製造業	1
職別工事業(設備工事業除く)	1
その他製造業	2
小計	14

技術指導分野	件数
生産管理	7
新製品開発	2
製品開発	2
工場計画	1
品質改善	1
製造管理	1
小計	14

##### 北部研究所

産業分野	企業数
繊維工業	1
福祉機器開発	1
プラスチック製品製造業	1
協同組合(他に分類されないもの)	1
電機機械器具	1
酒類製造業	1
障害者福祉事業	1
小計	7

技術指導分野	件数
生産技術	1
技術開発、特許	1
品質管理、営業戦略、技術開発	1
醤油製造業	1
製造技術	1
酒造技術	1
製品カタログ、リーフレット製作	1
小計	7

機関名	指導企業数	指導日数
本所	14	99
北部研究所	7	39
合計	21	138



### 2.1.3 技術指導フォローアップ事業

県内中小企業の技術的課題の解決を図るため、外部の技術専門家を技術指導依頼のあった企業に派遣した。その主な指導内容は、次のとおりである。

- ISOの取得指導
- 工場の節電、省エネ指導
- 樹脂部品の切削加工指導
- 機械装置の開発指導
- ステンレス鑄造の生産工程指導

#### ○ 技術指導フォローアップ件数

##### 本所

産業分野	企業数
生産用機械器具製造業	2
業務用機械器具製造業	2
プラスチック製品製造業	1
金属製品製造業	9
電気機械器具製造業	3
木材・木製品製造業	2
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2
輸送用機械器具製造業	1
鉄鋼業	1
ゴム製品製造業	1
情報通信機械器具製造業	1
食料品製造業	2
社会保険・社会福祉・介護事業	1
その他の製造業	2
小計	30

技術指導分野	件数
製品開発	7
生産管理技術・ISO	4
生産技術	2
電子応用技術	1
材料技術	4
表面処理技術	2
鑄造技術	4
金属加工技術	1
食品加工技術	1
省エネルギー・節電力技術	4
小計	30

##### 北部研究所

産業分野	企業数
食料品製造業	4
繊維工業	1
プラスチック製品製造業	1
電機機械器具製造業	1
金属製品製造業	1
産業用機械器具製造業	2
生産用機械器具製造業	1
輸送用機械器具製造業	1
社会保険・社会福祉・介護事業	2
小計	14

技術指導分野	件数
生産管理技術・ISO	3
生産技術	2
デザイン	2
省エネルギー・節電力技術	7
小計	14

機関名	指導企業数	指導日数
本所	30	30
北部研究所	14	14
合計	44	44

## 2.2 依頼試験

企業からの依頼に応じて、製品や部品、材料等の試験、測定、分析などを実施した。

### 2.2.1 依頼試験

本所で依頼試験件数の多かった項目は、強度試験、機器分析及び精密測定であった。北部研究所では、その他依頼試験、強度試験及び機器分析であった。

本所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	157	340,500
	機器分析	4,486	28,132,830
材料試験	強度試験	4,628	5,320,710
	物理試験	116	52,5520
	組織試験	1,851	6,042,430
	耐候性試験	283	4,664,050
	表面処理試験	1,360	4,121,480
測定及び検査	精密測定	3,207	7,312,330
	EMC測定	1	8,810
	非破壊検査	119	797,300
調製	試験片調製	975	841,820
その他依頼試験		1,723	10,621,010
立会試験		1	1,270
試験成績書の複本		38	9,880
写真の焼増し又はカラー複写		4	1,560
小 計		18,949	68,741,500

北部研究所

種 類		件 数	金額(円)
分析	一般分析	232	218,030
	機器分析	459	1,640,410
材料試験	強度試験	524	459,520
	物理試験	246	349,310
	組織試験	80	83,420
	表面処理試験	251	788,130
	染色堅ろう度試験	264	179,190
測定及び検査	精密測定	372	1,326,550
官能試験	温度設定のない試験	443	115,180
調製	試験片調製	13	7,410
その他の依頼試験		802	2,466,250
試験成績書の複本		5	1,300
小 計		3,691	7,634,700

機 関 名	件 数	金額(円)
本所	18,949	68,741,500
北部研究所	3,691	7,634,700
合 計	22,640	76,376,200

### 2.2.2 放射線測定依頼試験の開始

福島第一原子力発電所の事故発生により、放射能汚染の風評被害が工業製品にも起きた。風評被害に対応するため、工業製品の放射線測定の依頼試験を開始した。

検査対象	検査内容	検査実施場所	測定単位
1検体の一辺の大きさ80cm以内、重量30kg以内の工業製品(個体工業製品に限る)	サーベイメータによる製品表面の放射線量測定	本所	cpm
			$\mu$ Sv/h
		北部研究所	cpm
			$\mu$ Sv/h

機関名	件数	検体数
本所	113	415
北部研究所	103	320
合計	216	735

### 2.2.3 試験所の登録

当センターは、独立行政法人製品評価技術基盤機構において、工業標準化法の規定に基づく製品試験を行う者(試験所)を対象とした登録制度に登録されている。

試験方法の区分の名称	製品試験に係る日本工業規格の番号、項目番号及び記号	登録年月日
燃焼－赤外線吸収法	試験方法規格 JIS G 1211 附属書 4 [適用範囲 0.040% $\leq$ C $\leq$ 4.00%] ※JNLA 試験方法区分一覧が平成 24 年 3 月に告示改正され、試験方法規格は JIS G 1211 附属書 4 から JIS G 1211-3 に変更になった。	平成 20 年 8 月 1 日
ロックウェル硬さ試験	試験方法規格 JIS Z 2245 [適用範囲 20HRC $\leq$ ロックウェル硬さ $\leq$ 60HRC]	平成 20 年 8 月 1 日
金属材料引張試験	試験方法規格 JIS Z 2241 [適用範囲 12 kN $\leq$ 試験力 $\leq$ 200 kN]	平成 21 年 7 月 23 日
蛍光X線分析	試験方法規格 JIS G 1256 [試験範囲(単位:%(m/m)) 低合金鋼 0.01 $\leq$ Mn $\leq$ 2.00 0.01 $\leq$ Ni $\leq$ 3.80 0.01 $\leq$ Cr $\leq$ 4.50 0.01 $\leq$ Mo $\leq$ 1.20 ステンレス鋼 0.10 $\leq$ Mn $\leq$ 7.50 0.25 $\leq$ Ni $\leq$ 24.0 8.00 $\leq$ Cr $\leq$ 22.5 0.02 $\leq$ Mo $\leq$ 3.80]	平成 21 年 7 月 23 日

## 2.3 機器開放

企業の研究開発を支援するため、試験研究機器の開放及び操作技術の認定研修を実施した。

### 2.3.1 機器開放

企業が利用できる機器は、設計・加工機器、表面観察機器、強度試験機器、精密測定機器、測定機器、試料調整機器、電気・電子測定機器、評価試験機器、分析機器に分類されている。機器の総数は、本所 115 機器、北部研究所 62 機器、合計 177 機器である(平成 24 年 4 月現在)。

本所で特に利用件数の多かった機器は電波暗室電磁波試験測定装置、次いで電磁波障害対策室電磁波試験測定装置、シールドルーム電磁波試験測定装置の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで、冷熱衝撃試験機、複合サイクル試験機の順であった。

北部研究所で利用件数の多かった機器は波長分散型蛍光X線分析装置、万能材料試験機(300KN)、高圧油圧プレス機(1MN)の順であった。利用時間として最も多かった機器は、恒温恒湿槽、次いで冷熱衝撃試験機、波長分散型蛍光X線分析装置の順であった。

分類別の利用総額と総利用件数及び総利用時間は次のとおりであった。指導時間は、開放機器を使用する際の有料による指導の時間数である。

本所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	2,180,610	263	1,677	1,863,810	132	316,800
表面観察機器	503,050	282	1,040	467,050	15	36,000
強度試験機器	1,250,290	407	1,077	475,090	323	775,200
精密測定機器	2,444,420	506	1,955	1,196,420	520	1,248,000
測定機器	1,275,570	519	1,941	1,042,770	97	232,800
試料調製機器	569,060	70	1,574	477,860	38	91,200
電気・電子測定機器	31,103,110	1,096	3,782	25,611,910	2,288	5,491,200
評価試験機器	6,143,740	228	13,866	6,002,140	59	141,600
分析機器	2,100,490	316	1,083	2,023,690	32	76,800
小計	47,570,340	3,687	27,995	39,160,740	3,504	8,409,600

北部研究所

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
設計・加工機器	42,630	33	75	33,030	4	9,600
表面観察機器	13,620	5	6	1,620	5	12,000
強度試験機器	212,800	88	246	126,400	36	86,400
精密測定器	215,280	17	69	102,480	47	112,800
測定機器	64,970	39	197	40,970	10	24,000
試料調製機器	159,780	22	358	142,980	7	16,800
評価試験機器	1,556,280	65	4,651	1,556,280	0	0
分析機器	814,550	154	607	761,750	22	52,800
小計	3,079,910	423	6,209	2,765,510	131	314,400

分類	利用総額 (円)	利用件数 (件)	利用時間 (時間)	利用金額 (円)	指導時間 (時間)	指導金額 (円)
本所	47,570,340	3,687	27,995	39,160,740	3,504	8,409,600
北部研究所	3,079,910	423	6,209	2,765,510	131	314,400
合計	50,650,250	4,110	34,204	41,926,250	3,635	8,724,000

(利用総額:利用金額と指導金額の合計)

### 2.3.2 機器操作技術認定研修

試験研究機器を利用するに当たり、一定の操作技術が必要なものは研修を実施し、認定証を発行した。

研修日数・参加人数(本所)	162日・305人
研修日数・参加人数(北部)	15日・27人

## 2.4 技術普及業務

### 2.4.1 研究成果の技術移転

今までの研究成果を基に、企業への技術相談・指導を通じて技術移転に努めた。  
平成23年度に行った技術移転の具体例の内、主なものを以下に挙げる。

本所

- 32連式BOF/DWPR温度センシングシステムについて
- 鋳物金型によるアルミニウムダイカスト法の開発について

北部研究所

- 栗渋皮を用いた新規機能性製品の開発について
- 色調保持技術を用いた製麺について
- 吟醸酒用新酵母「埼玉G酵母」について
- 漬け物のパッケージデザインについて
- プリント布製品の商品開発について
- 苔退治スプレーボトルのラベルデザインについて
- チョコレートプレートの商品開発について
- 県産木材を用いた木工製品の開発について
- 共同受注商品の開発について
- 事業所の連携によるアソート商品のパッケージ開発について

### 2.4.2 SAITEC 研究発表会

平成22年度のセンターの研究成果の公開と様々な技術を紹介し、県内中小企業への技術移転の促進や連携推進に繋がるよう、平成23年度SAITEC研究発表会を開催した。

開催日：平成23年10月21日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：107名

内容：

- (1) 研究成果発表 38テーマ(他都県、環境コンソ等からの発表22テーマを含む)[内容は3.4.1項を参照]
- (2) ポスター展示
  - ① SAITEC平成22年度研究成果
    - SAITEC支援事例 3
    - 貸研入居企業研究成果 7
    - 環境コンソ成果 2
    - TKFから研究成果 4
    - JSTシーズ研究成果 3
  - ② 貸し研究室入居者紹介
- (3) 特別講演会：テーマ「これからのエネルギーと技術開発」  
講師 産業技術総合研究所 環境・エネルギー分野副研究統括 大和田野 芳郎 氏
- (4) 中小企業向け講演：テーマ「中小企業向けの施策等について」  
講師 関東経済産業局 地域振興課 プロジェクト推進第2係長 井上 雅光 氏
- (5) 施設見学会

### 2.4.3 SAITEC 研究発表会(熊谷会場)

埼玉県産業技術総合センター、群馬産業技術センター及び新潟県工業技術総合研究所の研究テーマを発表するとともに埼玉県産業技術総合センター北部研究所の新規導入機器を紹介した。併せて、食品の安全性に関する技術講演会を開催した。

開催日：平成23年10月11日(火)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：72名

内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示

(1) 研究成果発表 13テーマ(他県からの発表2テーマ)[内容は3.4.1項を参照]

(2) ポスター展示

① SAITEC 平成22年度研究成果

(3) 技術講演:テーマ「食品の安全性：科学的見方と最近の話題」

講師 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 教授 村田 容常 氏

## 2.5 次世代自動車研究会の運営

県内中小企業の新規参入や既存企業の技術転用を促進するため、(財)埼玉県産業振興公社との共同により、日産リーフを分解した各種部品の展示をはじめ、次世代自動車車関連技術の講演会、研究会を開催した。

この内、車両分解研究会には5つの分科会を設置し、それぞれ下記のとおり担当を決めて活動した。分科会の活動は、試乗会・講演会等を合わせて5回開催し、延べ385人の参加があった。

### 2.5.1 車両分解研究会各分科会の名称及び担当者一覧表

分科会	ボディ分科会	シャシ分科会	モータ分科会	パワエレ分科会	一般電装分科会
担当者	小熊 広之 高橋 利男	井上 裕之 細野 光広	島崎 景正 稲本 将史 小口 正浩	森田 寛之 巻島 秀男	本多 春樹 鈴木 浩之

### 2.5.2 日産リーフ試乗会の概要

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H23.12.6~8	リーフの試乗会	埼玉自動車大学校 構内グラウンド	13	26

### 2.5.3 講演会および分解車両見学会

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H24.1.30	「電気自動車がひらく明日の社会」	埼玉県産業技術総合センター	125	231

### 2.5.4 研究会

平成23年12月13日発足(名称:車両分解研究会)

5グループ(ボディ、シャシ、モータ、パワエレ、一般電装) 24社

年月日	内容	開催場所	参加社数	参加人数
H23.12.13	発足式およびガイダンス	埼玉自動車大学校	20	52
H24.1.30	研究テーマ選定	埼玉県産業技術総合センター	24	52
H24.3.22	研究進捗状況報告	埼玉県産業技術総合センター 埼玉自動車大学校	13	24

## 2.6 技術講習会、講演会の開催

本 所(主催事業)

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H23.4.6	第1回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ 鋳造技術コンクールに関する打合せ等	16
H23.4.15	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	6
H23.5.11	平成23年度埼玉県鋳造技術コンクール説明会	川口鋳物工業協同組合	1 実施概要・採点要領について 埼玉県産業技術総合センター 主任 菊池 和尚 2 課題の凝固解析事例について 埼玉県産業技術総合センター 主任研究員 永井 寛	30
H23.5.20	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	5
H23.6.1 ～6.3	第220回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	全体テーマ「技能検定のための鋳造技術の基礎知識」 ・6/1 その1 (社)日本鋳造協会 技術顧問 納谷 喜郎 氏 ・6/2 その2 ものづくり大学 特任教授 鈴木 克美 氏 ・6/3 その3 (株)永瀬留十郎工場 専務取締役 永瀬 勇 氏	114
H23.6.10	品質工学フォーラム 埼玉総会、定例会	埼玉県産業技術総合センター	総会、センター見学会、事例発表、事例相談	14
H23.7.13	第2回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ等	13
H23.7.13	第533回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「鋳造欠陥とその対策事例」 (有)ハイ・キャスト 伊勢木 洋昭 氏	34
H23.7.15	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	8
H23.8.26	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	9
H23.8.31 ～9.2	第221回埼玉県鋳物技術講習会	川口鋳物工業協同組合	テーマ「最近の鋳鉄溶解材料の動向と現場での使いこなし方」 ・8/31 「鋳物用鋼屑の動向と対応策について」 新日本製鐵(株)名古屋製鐵所 横山 隆宏 氏 ・9/1 「高純度鋳鉄の鋳鉄品質に及ぼす効果」 (株)神戸製鋼所 鉄鋼事業部門 野田 俊 氏 ・9/2 「鋳鉄の材質に及ぼす溶解材料からの微量元素の影響」 岩手大学工学部マテリアル工学科 教授 平塚 貞人 氏	107
H23.9.16	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	12
H23.10.12	第47回埼玉県鋳造技術コンクール審査会	埼玉県産業技術総合センター	第47回埼玉県鋳造技術コンクールの審査 埼玉県産業技術総合センター 試験研究室長 北村 英三, 他	16

年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H23.10.12	第3回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ等	15
H23.10.12	第534回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「非鉄鋳物業界が抱える課題—立ち上がれ鋳物業界—」 (株)田島軽金属 顧問 福村 勇蔵 氏	28
H23.10.21	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	10
H23.10.21	SAITEC 研究発表会	埼玉県産業技術総合センター	平成22年度 SAITEC の研究成果発表 研究成果ポスター等展示 講演会、施設見学会	107
H23.11.18	埼玉県鋳造技術コンクール表彰式及び講評会	埼玉県産業技術総合センター	講評会講師 鋳物技術委員 足立 亘 氏 表彰式 埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口 照恭, 他	50
H23.11.18	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	10
H23.11.22	第5回ものづくり講演会	埼玉県産業技術総合センター	「最近の鋳物技術状況—開発された新技術等—」 石原技術士事務所 石原 安興 氏 他 会員からの発表1件	28
H23.11.22 11.24 11.25	第222回埼玉県鋳物技術講習会	埼玉県産業技術総合センター	テーマ「鋳物のCAE解析のための三次元CAD入門」 ・11/22 「三次元CADを使った鋳物づくりの実際」 島田木型製作所 島田 勝征 氏 ・11/24 「三次元CAD(SolidWorks)を利用した鋳造方案作成1」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 國岡 保弘 氏 ・11/25 「三次元CAD(SolidWorks)を利用した鋳造方案作成2」 (株)ケイジー・ラボラトリーズ 國岡 保弘 氏	24
H23.12.16	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	10
H24.1.20	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術総合センター	事例発表、事例相談	11
H24.2.3	めっき技術講演会	パレスホテル大宮	「ナノコロイド触媒を用いたエッチングレス無電解めっき」 (独)産業技術総合研究所 主任研究員 堀内 伸 氏	45
H24.2.3	埼玉県めっき技術競技会表彰式	パレスホテル大宮	表彰式: 埼玉県産業技術総合センター センター長 牟田口 照恭, 他	45
H24.2.8	第4回埼玉県鋳物技術委員会	川口鋳物工業協同組合	県内の鋳造技術振興に関する打合せ 鋳造技術コンクールに関する打合せ等	13
H24.2.8	第535回埼玉県鋳物技術講演会	川口鋳物工業協同組合	「鋳鉄におけるレアアースの役割—球状黒鉛鋳鉄、CV黒鉛鋳鉄におけるレアアースの様々な役割について—」 (株)アイメタルテクノロジー 技術部門 研究開発部 工博 岡田 和彦 氏	21



年月日	名 称	会 場	内容及び講師等	参加人数
H24.2.17	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術 総合センター	事例発表、事例相談	9
H24.2.29 ～3.2	第 223 回埼玉県鋳物技 術講習会	川口鋳物工業協同 組合	全体テーマ「鋳物工場における省エネ への取り組みと効率的溶解操業技術 (地震等緊急時の溶解操業事例とその 対策を含む。)」 ・2/29 「誘導炉の特徴と効率的な操業 について」 北芝電機(株)電熱システム事業部 主幹 田中 宏憲 氏 ・3/1 「「誘導炉における震災の影響と 対応並びに電力需給問題の一考察」 富士電機サーモシステムズ(株) 顧問 林 静夫 氏 ・3/2 「電力問題、節電、省エネ」 (株)キャスト 代表取締役 酒井 英行 氏 ・3/2 「埼玉県産業技術総合センターにお ける節電・省エネ活動について」 埼玉県産業技術総合センター 担当部長 宮原 進	116
H24.3.1	ベクトルネットワークア ナライザ(VNA)基礎セミ ナー	埼玉県産業技術 総合センター	ベクトルネットワークアナライザ(VNA)基 礎 アジレント・テクノロジー(株) アプリケーションエンジニアリング部 桜井昭寛 氏	3
H24.3.7	技術講習会	埼玉県産業技術 総合センター	「モデルベースデザインによる制御系設 計入門」 マスワークス合同会社 アプリケーションエンジニアリング部 赤坂 大介 氏	10
H24.3.16	品質工学フォーラム 埼玉定例会	埼玉県産業技術 総合センター	事例発表、事例相談	14

本 所(支援事業)

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H23.5.18	埼玉県熱処理技術研 究会総会及び記念講 演会	大宮ソニックシティ	「たたら製鉄の技と精神」 日刀保たたら 村下 木原 明 氏	54
H23.5.19	埼玉県ものづくり研究 会 総会・講演会	大宮ソニックシティ	通常総会、講演会 「砲丸と私の人生」 (有)辻谷工業 代表取締役社長 辻谷 政久 氏	28
H23.6.17,24 7.1,8	熱処理技術講習会	埼玉県産業技術 総合センター	熱処理の社員教育、熱処理技術研 究会役員他	のべ 80

年月日	名 称	会 場	支 援 内 容 等	参加人数
H23.6.29 ～6.30	第8回鋳鉄品の超音波 試験技術者養成講習 会	埼玉県産業技術 総合センター	非破壊検査総論 埼玉大学大学院 加藤 寛 氏 鋳鉄品の強度評価 室蘭工業大学 野口 徹 氏 鋳鉄の超音波試験Ⅰ・Ⅱ 日下レアタル研究所 鹿毛 秀彦 氏 超音波試験の基礎 日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 日本非破壊検査工業会 矢本 守 氏 東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 永井 寛, 他	44
H23.11.16 ～11.17	第9回鋳鉄品の超音波 試験技術者養成講習 会	埼玉県産業技術 総合センター	非破壊検査総論 埼玉大学大学院 加藤 寛 氏 鋳鉄品の強度評価 室蘭工業大学 野口 徹 氏 鋳鉄の超音波試験Ⅰ・Ⅱ 日下レアタル研究所 鹿毛 秀彦 氏 超音波試験の基礎 日本非破壊検査工業会 後河内 薫 氏 実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 日本非破壊検査工業会 矢本 守 氏 東京都立産業技術研究センター 渡部 友太郎 氏 埼玉県産業技術総合センター 主任研究員 永井 寛, 他	42
H23.11.25	実践型熱処理技術講 習会	埼玉県産業技術 総合センター	「省エネとスキルフリーを実現する 真空浸炭炉“モジュールサーモ”」 大同特殊鋼(株) 堀 哲 氏 「省エネサポートチームからのお知 らせ」 埼玉県産業技術総合センター 担当部長 宮原 進 「新型真空脱脂洗浄装置」 (株)ナチサーモテック 町 哲司 氏 「環境対応・高性能ガス浸炭炉」 オリエンタルエンジニアリング(株) 河田 一喜 氏 「熱処理における省エネマニユア ル」 東部金属熱処理工業組合 鈴木 健司 氏	47

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H24.1.30～ 2.3	鑄造カレッジ・インター ンシップ	埼玉県産業技術 総合センター	・2/3 「鑄造品の不良解析事例」 埼玉県産業技術総合センター 技師 原田 雅典	19
H24.3.9	熱処理発表会	埼玉県産業技術 総合センター	「高機能型熱処理油による省エネ・省資 源・環境改善のご提案」 出光興産(株) 潤滑油部東日本販売室 関東潤滑油課 小嶋 康嗣 氏 「窒化・酸化複合処理したSKD61の各 種特性」 オリエンタルエンジニアリング(株) 研究開発部研究室 木立 徹 氏 「環境にやさしい水溶性冷却剤」 日本グリース(株) 技術研究所 熱処理油G 前田 修作 氏 「A社シャフトの段取り作業改善」 (株)オーネックス 生産課 課長代理 尾上 幹浩 氏 「植栽ハサミの熱処理と当社の博物館の 紹介」 (株)昌国 社長 川澄 昌国 氏	40
H24.3.9～10	埼玉県ものづくり研究 会 工場見学会	(株)ナガセインテグレッ ス、鍋屋ハイテック会 社、トヨタ産業技術 記念館	工場見学、講演	17

北部研究所(主催事業)

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H23.6.28	清酒出荷管理講習会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「貯蔵出荷管理」 関東信越国税局鑑定官室 主任鑑定官 松崎 修 氏 「平成22年度関東信越国税局市販酒類 調査の概要について」 関東信越国税局鑑定官室 鑑定官 能勢 雅樹 氏 「市販酒類研究会の成分分析項目につ いて」 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	34
H23.6.28	市販清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「きき酒について」 関東信越国税局 松崎 修 氏 能勢 雅樹 氏 技術アドバイザー 大橋 勝 氏 山田 和男 氏	32
H23.9.26	清酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「清酒審査講評」 関東信越国税局 本村 創 氏 能勢 雅樹 氏 技術アドバイザー 大橋 勝 氏 山田 和男 氏	27

年月日	名称	会場	内容及び講師等	参加人数
H23.10.11	SAITEC 研究発表会 (熊谷会場)	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	平成 22 年度 SAITEC の研究成果発表 研究成果ポスター等展示、 講演会「食品の安全性:科学的見方と最 近の話題」 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 教授 村田 容常 氏	72
H23.11.11	第 8 回埼玉北部地域技 術交流会	ものづくり大学	「低エネルギー社会におけるものづくり～ 今後エネルギーは、そして産業は～」 ものづくり大学 学長 神本 武征 氏	150
H23.11.17	米菓研究会平成 23 年 度秋の勉強会	ビジネス交流プラ ザ	「豆腐屋の闘い」 とうふ工房わたなべ 渡辺 一美 氏	28
H23.12.14	吟醸酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	パネルディスカッション「吟醸酒造りの要 点」 進行 杜氏会前会長 高橋清明氏 「吟醸酒の製造について」 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	17
H24.3.7	大豆発酵食品講習会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「みそとしょうゆの関係」～穀物とおいしさ を醸す微生物たち～ 東京農業大学 講師 東 和男 氏	43
H24.3.7	埼玉県社会就労者セン ター協議会、埼玉県障 害者授産事業振興セン ター	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「商品開発・改良の実際」 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 担当部長 竹内 了 担当部長 高橋 広子	25
H24.3.14	杜氏酒造研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「吟醸酒の管理と出品について」 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏	20
H24.3.26	新酒研究会	埼玉県産業技術 総合センター 北部研究所	「出品酒の成分と品質について」 埼玉県産業技術総合センター 担当部長 増田 こずえ 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏 技師 南澤 賢 技師 鈴木 康修	21

注) 米菓研究会、市販清酒研究会、清酒研究会、吟醸酒研究会、杜氏研究会については、5.2 新技術情報交流支援  
(研究会・交流会の開催)に再掲。

## 2.7 培養酵母の頒布

種 別	本 数	金 額(円)
酒類用酵母	1,078 本	539,000
醤油用酵母	8 本	12,000
合 計	1,086 本	551,000

### 3 研究開発

埼玉県産業技術総合センターでは、県内産業の技術力強化を図るため、社会的ニーズや新技術・新製品の開発や生産システム等の課題に対応した研究開発や企業からの依頼による受託研究等を実施し、研究成果の発表や技術相談・指導等を通じて研究成果の技術移転を行った。

また、研究の計画及び終了段階における外部評価委員による研究評価、外部専門家の客員研究員による研究指導等、研究の効果的・効率的推進に努めた。

#### 3.1 研究開発

##### 3.1.1 政策的研究課題

###### (1) 政策的研究開発事業(研究プロジェクト、産業支援研究)

本所

- ステンレス鋼六価クロムフリー電解研磨技術の開発
- 高アスペクト比(深さL/直径Dの比)微細深穴加工技術に関する研究
- レーザ結晶の高効率超精密研磨に関する研究②
- 超臨界流体を用いた精密成形に関する研究②
- ピエゾ素子を用いた高推力リニアモータの開発
- カーボンフェルト電極マイクロ波放電を利用したマグネシウム二次電池正極活物質の開発【研究プロジェクト】

北部研究所

- 栗渋皮を利用した新規機能性製品の開発②
- 県産小麦の新規ブレンド粉の開発 ～色調と食感の優れた県産麺用ブレンド粉の開発～
- 米粉を用いた新規製麺技術の開発②
- 遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発

###### (2) 新技術開発推進事業(独創的技術形成研究、技術支援高度化研究)

本所

- ベクトルネットワークアナライザを用いたマイクロ波帯域測定における誤差要因低減に関する調査

北部研究所

- 高温もろみ対応清酒酵母の開発
- 油菓子保存試験の促進評価方法の確立
- 天然精油を用いた粉体マイクロ・ナノカプセルの製造方法の開発

###### (3) 競争的資金による研究開発

[戦略的基盤技術高度化支援事業 関東経済産業局]

- ナノフェライト粒子の量産製造技術の開発と応用展開
- 超小型内視鏡部品製造のための知的ポスト処理システムによる高精度切削加工技術の開発
- 発酵食品製造における微生物汚染防止のための品質管理システムの開発
- 成形サイクルの短縮に係わる型技術の開発
- アルミ鍛造の生産工程削減を可能とする潤滑油の開発
- 電気自動車の走行モータ用超軽量シャフトを実現する超精密摩擦圧接システムの開発
- 硬質六価クロムめっきに代わる微粒子分散複合めっき技術の開発

[イノベーションシステム整備事業(地域イノベーションクラスタープログラム(都市エリア型)) 文部科学省]

- 高速分子進化技術を核とするバイオ・ものづくりクラスターの形成

[次世代自動車用高性能蓄電システム技術開発 (独)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)]

- カーボンフェルト電極マイクロ波放電を利用したマグネシウム二次電池正極活物質の開発(再掲)

[研究成果最適展開支援プログラム(A-STEP) (独)科学技術振興機構(JST)]

- 開創部の骨形状を術中、実時間に光三次元計測し、人工関節の個別最適化を実現する手術支援システムの研究開発

### 3.1.2 受託研究

#### (1) 企業からの受託研究

	件数	金額 (円)
本 所	13	2,954,200
北部研究所	8	1,396,400
計	21	4,350,600

#### (2) 外部競争的資金による受託研究

	件数	契約額 (円)
本 所	7	11,609,750
北部研究所	3	1,460,500
計	10	13,069,250

## 3.2 研究開発の実用化・商品化

- (1) 栗渋皮を用いた新規機能性製品 クレンジング、マイルドソープ、ローション、ゲルクリーム、シャンプー、トリートメントほか
- (2) 色調保持技術を用いた製麺
- (3) 吟醸酒用新酵母「埼玉G酵母」
- (4) 漬け物のパッケージデザイン
- (5) プリント布製品の商品開発
- (6) 苔退治スプレーボトルのラベルデザイン
- (7) チョコレートプレートの商品開発
- (8) 県産木材を用いた木工製品の開発
- (9) 共同受注商品の開発
- (10) 事業所の連携によるアソート商品のパッケージ開発と販売促進計画
- (11) 32連式BOF/DWPR温度センシングシステム
- (12) 鋳物金型によるアルミニウムダイカスト法の開発

## 3.3 客員研究員

外部の専門家・有識者を当所の客員研究員として依頼し、当所が進める各分野の研究に対して助言指導を受けた。

客員研究員		指導分野	指導日数
松田技術経営研究所	松田 信一 氏	生 産 関 連	4
埼玉大学	池野 順一 氏	生 産 関 連	4
元(独)産業技術総合研究所	近森 邦夫 氏	生 産 関 連	4
城西大学	和田 政裕 氏	バ イ オ 関 連	1
お茶の水女子大学	村田 容常 氏	バ イ オ 関 連	2
東京大学	空閑 重則 氏	バ イ オ 関 連	4
工学院大学	山田 昌治 氏	バ イ オ 関 連	2
東京農業大学	野口 智弘 氏	バ イ オ 関 連	2
8名		2 分 野	23

### 3.4 研究成果の公表

#### 3.4.1 センター主催の発表

本所

(2) SAITEC 研究発表会（掲載論文『埼玉県産業技術総合センター研究報告第9巻』）

年月日	研究題目	発表者名
H23.10.21	ガスタービン用ノズルへの微細深穴加工に関する研究	生産技術担当 南部 洋平
	レーザ結晶の高効率超精密研磨に関する研究	生産技術担当 落合 一裕
	ステンレス鋼の六価クロムフリー電解研磨技術の開発 ～毒劇物を用いないステンレス鋼の電解研磨～	生産技術担当 出口 貴久
	Mg 二次電池正極材料の開発(NEDO 委託)	戦略プロジェクト担当 栗原 英紀
	超臨界流体を用いた精密成形に関する研究	生産技術担当 山田 岳大
	抗カビ剤の簡易評価方法の開発	生物学担当 細井 永次
	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	生物学担当 富永 達矢
	清酒酵母の開発(第2報)	生物学担当 横堀 正敏
	栗渋皮を利用した新規機能性製品の開発	生物学担当 樋口 誠一
	県産小麦麺の色調保持技術の開発	生物学担当 小島 登貴子
	埼玉県産硬質小麦の製パン利用技術の確立	生物学担当 海野 まりえ
	米粉を用いた新規製麺技術の開発	生物学担当 常見 崇史
	中・小規模施設向けビルエネルギー管理システム(BEMS)の開発	戦略プロジェクト担当 半田 隆志
	福祉用具の機能別共通試験方法に関する研究	電子技術・電磁波測定担当 田中 智大
	1GHzを超える電磁ノイズ環境のサイト評価と測定に関する研究	電子技術・電磁波測定担当 能戸 崇行
高分解能・高推力リニアモータの開発	電子技術・電磁波測定担当 荻野 重人	

年月日	研究題目	発表者名
H23.10.11	ステンレス鋼の六価クロムフリー電解研磨技術の開発 ～毒劇物を用いないステンレス鋼の電解研磨～	生産技術担当 出口 貴久
	ガスタービン用ノズルへの微細深穴加工に関する研究(2)	生産技術担当 南部 洋平
	レーザ結晶の高効率超精密研磨に関する研究	生産技術担当 落合 一裕
	超臨界流体を用いた精密成形に関する研究	生産技術担当 山田 岳大
	県産素材を用いた高付加価値食品の開発 ～ 県産小麦麺の色調保持技術の開発 ～	生物学担当 小島 登貴子
	米粉を用いた新規製麺技術の開発	生物学担当 常見 崇史
	埼玉県産硬質小麦の製パン利用技術の確立	生物学担当 海野 まりえ
	清酒酵母の開発	生物学担当 横堀 正敏
	遺伝子検出による迅速微生物解析技術の開発	生物学担当 富永 達矢
	栗渋皮を利用した新規機能性製品の開発	生物学担当 樋口 誠一
抗カビ剤の簡易評価方法の開発	生物学担当 細井 永次	



### 3.4.2 学会等への発表(国際会議含む)

本 所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H23.4.1	毒劇物(過塩素酸, フッ化物)を用いないチタン電解研磨法の開発	出口 貴久		チタン Vol.59, No.2, 2011
H23.6.8	鋳造 CAE を用いたアルミ基複合材鋳物の品質改善	永井 寛	日本鋳造工学会 H23 年度第 1 回鋳造設備研究部会	
H23.6.16	Attempt to Increase Step Feed by Adding Ultrasonic Vibrations in Micro Deep Drilling	Yohei Nambu, Kazuhiro Ochiai		Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol. 5 No. 2
H23.6.22	超臨界微細発泡射出成形における内部発泡構造の観察-キャビティ板厚の影響-	山田 岳大	プラスチック成形加工学会第 22 回年次大会	
H23.7.5	微細深穴加工におけるシンニングによって形成されるチゼルすくい角の影響	南部 洋平 落合 一裕		精密工学会誌 2011 Vol77 No.7
H23.7.28	埼玉県における放射線測定について	森田 寛之	千葉県産業支援技術研究所発表会	
H23.8.24	Thoracic Scoliosis Measurement using the Seated Posture Measurement Software: is it Valid?,	Takashi Handa	第 26 回リハ工学カンファレンス	
H23.8.24	座位姿勢計測実習プログラムの開発	半田 隆志 (発表 特別養護老人ホーム浅草 古賀洋)	第 26 回リハ工学カンファレンス	
H23.8.24	傾斜角度計測器を用いた骨盤傾斜に伴う姿勢の傾向	半田 隆志 (発表 竹の塚脳神経リハビリテーション病院 井筒隆文)	第 26 回リハ工学カンファレンス	
H23.9	座位姿勢計測器の開発と評価	半田 隆志		芝浦工業大学研究報告理工系編, 55(2)
H23.9.5	Correlation between Molding Conditions and Foam Morphology of PP and HIPS in Microcellular Injection Molding (Part2) -Observation of "Icicle-Shaped Long Cells" Using X-ray CT-	Takehiro Yamada	Asian Workshop on Polymer Processing (AWPP2011 in China)	
H23.9.9	マイクロ波を用いた五酸化バナジウムキセロゲルの作製と Mg イオンの挿入脱離特性	稲本 将史 栗原 英紀	2011 年電気化学秋季大会	2011 年電気化学秋季大会要旨集
H23.9.20	ガスタービン用ノズルの微細深穴加工(第4報)	南部 洋平	2011 精密工学会秋季大会	2011 精密工学会秋季大会講演論文集
H23.9.21	毒劇物を用いないステンレス鋼の電解研磨	出口 貴久	2011 精密工学会秋季大会	2011 精密工学会秋季大会講演論文集
H23.9.30	座位姿勢計測機器の開発と評価および脊柱側彎計測への応用可能性	半田 隆志	第 6 回応用福祉工学シンポジウム	
H23.9.30	葬儀用和紙製義肢の開発	半田 隆志	第 6 回応用福祉工学シンポジウム	

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H23.10	マグネシウム二次電池正極材料としての硫黄を添加した五酸化バナジウムの電極特性	稲本 将史 栗原 英紀		表面技術 Vol.62, No.11, 2011
H23.10	アルミ基複合材鋳物のハイブリッド砂型低圧鋳造法の開発	永井 寛		日本鋳造工学会, 研究報告 108「鋳造業のSustainabilityを実現する設備技術」(2011),11
H23.10	低膨張鋳鉄材料の特性の改善	永井 寛		日本鋳造工学会, 研究報告 108「鋳造業のSustainabilityを実現する設備技術」(2011),42
H23.10	安全性に配慮したチタン・マグネシウムの電解研磨	出口 貴久		日本鋳造工学会, 研究報告 108「鋳造業のSustainabilityを実現する設備技術」(2011),47
H23.10.15	微細発泡射出成形におけるウエルド部の内部発泡構造の観察	山田 岳大	プラスチック成形加工学会第 19 回秋季大会	
H23.10.17	砂型低圧鋳造によるアルミニウム基複合材料鋳物の鋳造性	永井 寛 笹川 俊夫 井上 裕之 (発表: 田島軽金属 栗田 春男)	日本鋳造工学会 第 159 回全国講演大会	日本鋳造工学会 第 159 回全国講演大会講演概要集
H23.10.17	鋳造 CAE を用いたアルミニウム基複合材鋳物の品質改善	永井 寛 井上 裕之 笹川 俊夫	日本鋳造工学会 第 159 回全国講演大会	日本鋳造工学会 第 159 回全国講演大会講演概要集
H23.10.17	アルミ基複合材鋳物のハイブリッド砂型低圧鋳造法の開発	永井 寛 (発表: 田島軽金属 松浦 誠)	日本鋳造協会 平成 23 年度秋季大会	日本鋳造協会 平成 23 年度秋季大会講演概要集
H23.10.17	マグネシウム蓄電池正極材料としての V <sub>2</sub> O <sub>5</sub> -MnO <sub>2</sub> -S 固溶体の電極特性	栗原 英紀 稲本 将史	第 52 回電池討論会	第 52 回電池討論会要旨集
H23.10.22	座位姿勢計測器による実習プログラムの構築	半田 隆志 (発表 日本医療科学大学 木之瀬隆)	第 27 回日本義肢装具学会学術大会	
H23.11.7	Tools for Qualitative Seated Posture Measurement	Takashi Handa	European Seating Symposium 2011	
H23.11.10	ガスタービン用ノズルへの微細深穴加工に関する研究	南部 洋平	神奈川県ものづくり技術交流会	平成 23 年度ものづくり技術交流会プログラム・要旨集
H23.11.10	レーザ結晶の高効率超精密研磨に関する研究	落合 一裕	東京都立産業技術研究センター	
H23.11.10	超臨界流体を用いた微細発泡射出成形構造観察	山田 岳大	東京都立産業技術研究センター	
H24.2.5	微細深穴加工に対する低周波振動付加に関する研究	南部 洋平 落合 一裕		精密工学会誌 2012 Vol78 No.2
H24.3.7	Measuring Wheelchair Seated Posture and Seating Supports: Standardization of Terms and Methodologies	Takashi Handa	28 <sup>th</sup> International Seating Symposium	
H24.3.7	Wheelchair Seated Posture Measurement Based on ISO16840-1 at Osaka Kawasaki Rehabilitation University Booth during Barrie Free Trade Show	Takashi Handa	28 <sup>th</sup> International Seating Symposium	

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H24.3.13～ 14	カーボンフェルト間大気圧マイクロ波放電窒素プラズマによるチタン表面の窒化	栗原 英紀 稲本 将史 (発表 埼玉工業大院工 白 金成)	表面技術協会 第125回講演大会	

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	口頭発表	論文
			発表会名	掲載誌名
H23.7.28	清酒酵母の開発	横堀 正敏	千葉県産業支援技術 研究所発表会	
H23.9.6	清酒酵母の開発	横堀 正敏	(社)日本醸友会関東 信越支部講演会	
H23.9.11	埼玉県産小麦麺の色調改善技術の 開発Ⅱ	小島 登貴子 樋口 誠一	日本食品科学工学会・ 第58回大会	
H23.10.18	県産小麦麺の色調改善技術の開発	小島 登貴子	上信越公設研ネット合 同成果発表会	
H23.11	重イオンビーム照射を利用した吟醸 酒用の新しい酵母の開発	横堀 正敏		ブレインテクノニュース No.148
H23.11.10	県産小麦麺の色調改善技術の開発	小島 登貴子	神奈川県ものづくり技 術交流会	平成23年度ものづくり 技術交流会プログラ ム・要旨集
H23.11.10	植物繊維を用いた米粉麺製造技術 の開発	常見 崇史	神奈川県ものづくり技 術交流会	平成23年度ものづくり 技術交流会プログラ ム・要旨集
H24.1.19	清酒酵母の開発	横堀 正敏	理研シンポジウム「重イ オンビーム変異体利用 の新展開」	
H24.2.6	栗渋皮を利用した新規機能性製品 の開発	樋口 誠一	くり「ぼろたん」の現地 検討会	

## 3.5 研究課題の評価

### 3.5.1 事前評価

平成 24 年度の研究計画課題について、課題選定や予算策定の基礎資料とするため、内部委員による内部評価を行った上で、外部専門家を含めた研究評価委員会を開催し、事前評価を行った。

#### ○ 研究評価委員会

外部委員

(平成 23 年 10 月 3 日開催)

東洋パーツ(株)	会長	小菅一憲氏
東京電機大学	教授	樫村幸辰氏
(独)産業技術総合研究所	イノベーションコーディネータ	山中忠衛氏
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所	食品素材科学研究領域長	松倉潮氏
(財)埼玉県産業企業振興公社	知的財産アドバイザー	野口満氏

### 3.5.2 事後評価

平成 22 年度の研究結果について、今後の新しい研究や研究成果の普及についての参考とし、さらに効率的研究の推進を図るため、外部委員や内部委員による事後評価を行った。

#### ○ 研究評価委員会

外部委員

(平成 23 年 5 月 23 日開催)

東洋大学	名誉教授	清澤文彌太氏
(独)産業技術総合研究所	イノベーションコーディネータ	山中忠衛氏
(独)農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所	食品素材科学研究領域長	松倉潮氏
(財)埼玉県産業振興公社	知的財産アドバイザー	野口満氏

### 3.5.3 中間評価

研究の進捗状況を把握し、その進行を適切に管理するために中間ヒヤリングを以下のとおり実施した。

産業支援研究・新技術創出調査研究(第 1 回)	平成 23 年 7 月 28 日
産業支援研究(第 2 回)	平成 23 年 12 月 22 日
新技術創出調査研究(第 2 回)	平成 24 年 3 月 8 日

### 3.5.4 外部資金研究報告会

外部から獲得した研究資金に関する報告会を以下のとおり実施した。

北部の外部資金の報告会	平成 24 年 3 月 8 日
本所の外部資金の報告会	平成 24 年 3 月 12 日

## 4 研究開発支援

中小企業の研究開発支援及び産学官連携を推進するため、技術相談や共同研究による企業の支援を行った。また、研究発表会を開催し、SAITEC の研究成果を紹介した。さらに、特許の取得推進とその利用に努めた。

### 4.1 産学官連携の推進

#### 4.1.1 産学官連携推進について

SAITEC における研究開発について、県内企業等と共同研究を行うなどして連携の推進を図った。外部競争的資金にも連携により 28 テーマ応募し、19 件の採択を得た。

また、SAITEC 研究発表会の開催や、産業交流展など他機関主催の展示会へも積極的に参加し研究等の説明を行った。

さらに、産学連携支援センター埼玉が主催する産学連携ネットワーク会議に参加し、県内工科系大学及び県内金融機関等と産学官連携の情報交換、連携推進を行った。

#### 4.1.2 産学官連携関連展示会(主催事業)

##### (1) SAITEC 研究発表会(再掲)

SAITEC の研究成果の展示・発表を行い、連携推進につながるよう県内企業等への研究・技術紹介などを行った。

開催日：平成 23 年 10 月 21 日(金)

会場：埼玉県産業技術総合センター

来場者：107 名

内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示、施設見学会

・特別講演会：テーマ「これからのエネルギーと技術開発」

講師 産業技術総合研究所 環境・エネルギー分野副研究統括 大和田野 芳郎 氏

・中小企業向け講演：テーマ「中小企業向けの施策等について」

講師 関東経済産業局 地域振興課 プロジェクト推進第2係長 井上 雅光 氏

##### (2) SAITEC 研究発表会(熊谷会場)(再掲)

SAITEC の研究成果の展示・発表を行い、連携推進につながるよう県内企業等への研究・技術紹介などを行った。

開催日：平成 23 年 10 月 11 日(火)

会場：埼玉県産業技術総合センター北部研究所

来場者：72 名

内容：SAITEC 研究発表、ポスター展示

技術講演：テーマ 「食品の安全性：科学的見方と最近の話題」

講師 お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 教授 村田 容常 氏

##### (3) 埼玉北部地域技術交流会

63 企業、6 教育機関、14 支援機関からの製品紹介、事業紹介、研究成果の展示及び技術相談会等を開催した。

開催日：平成 23 年 11 月 9 日(水)

会場：ものづくり大学

基調講演：テーマ「低エネルギー社会におけるものづくり」～今後エネルギーは、そして産業は～

講師 ものづくり大学 学長 神本 武征 氏

出展：83 企業・団体

参加者：547 名

#### 4.1.3 産学官連携に関連する展示会

平成 23 年度は、主催の展示会のみならず、外部機関からの出展依頼のあったものについても積極的に出展した。平成 23 年度の出展実績は以下のとおりである。

年 月 日	展示会の名称	開催場所	参加人数
H23.5.11	戸田市産業推進交流会	戸田市商工会	100
H23.6. 22,23	プラスチック成形加工学会 第22回年次大会 企画展示(SAITEC 紹介ポスター展示)	タワーホール船堀	---
H23.10.11	SAITEC 北部研究所研究発表会	SAITEC 北部研究所	72
H23.10.21	SAITEC 研究発表会	SAITEC	107
H23.10.26 ~ 28	産業交流展 2011	東京国際展示場	301
H23.11.7	東日本 FRP 工業会展示会	川口リリア	29
H23.11.9	埼玉北部地域技術交流会	ものづくり大学	547
H24.1.25,26	産学連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	116
H24.1.30	車両分解研究会展示会	SAITEC	231

#### 4.1.4 SAITEC 内特別チーム

##### (1) 目的

SAITEC のミッションである「県内企業の振興と発展」の具現化に向けて、状況判断により、組織の枠組みを越えて横断的に運営する。

改廃は状況判断により、随時発足し、定期的(半年を目途)にそのミッション、メンバーを見直すものとする。承認、発行はセンター長とする。

注:proj活動となるが、組織名:戦略プロジェクト推進と混同されるため、特別チームと呼ぶ。(○はGリーダーを指す)

##### (2) SAITEC 内 特別チーム

特別チーム名	発足年月	メンバー	目的	終了年月
放射線測定	H23.5	[本所] ○高橋 利男 鈴木 浩之 森田 寛之 小口 正浩 笹川 俊夫 永野 正明 永井 寛 福島 泰年 落合 一裕 蓮 俊介 熊谷 知哉 佐野 勝 地形 祐司 荻野 重人 岩崎 正太 半田 隆志 増田 こずえ 名倉 寿夫 ほか [北部研究所] 小島 登貴子 小林 茂 横堀 正敏 鈴木 理博 ほか	大震災復興支援のひとつ。 工業製品等の表面の放射線汚染状況を測定のうえ、成績書を発行する。	H24.3

特別チーム名	発足年月	メンバー	目的	終了年月
節電・省エネ	H23.5	○宮原 進 高橋 利男 進藤 久宜 坂本 大輔 麻生 信之 田中 智大 半田 隆志 名倉 寿夫 竹内 了 鶴藺 大	大震災復興支援のひとつ。 エネルギー不足に対応するため、 節電・省エネ対策の診断及び相談 を実施する。	H24.1
材料* 注:対外的に Projと呼ぶ場 合あり	H24.1	○小熊 広之 関根 正裕 佐野 勝 ○山田 岳大 坂本 大輔 ○小口 正浩 清野 弘孝	環境とエネルギーへの対応として 材料分野は必須である。 また、グローバル対応では REACH 規制の SVHC は 53 物質 →73 物質へと増加し、これらへの 対応も必要。	

**\*材料チームの細目**

材料	担当	内容
CFRP	○小熊 広之 関根 正裕 佐野 勝	リサイクル可能、成形時間短縮
プラスチック	○山田 岳大 坂本 大輔	軽量化、高強度
全般	○小口 正浩 清野 弘孝	今後、産業界が必要となる新材料の 情報収集と知見の深化。併せて R E A C H規制対応

## 4.2 助成制度への取り組み

埼玉県産業技術総合センターでは、県内中小企業の技術的支援機関として、国の重要施策である新規産業創造の実現に向けた「研究・技術開発に対する助成制度」を積極的に活用するための取り組みを行っている。

### 4.2.1 研究開発型企業支援事業

県内中小企業に対し、国等が実施する助成制度への応募に向けて、大学、(独)産業技術総合研究所、(独)理化学研究所、(財)埼玉県産業振興公社等との連携の基に支援を行った。

結果、外部競争的資金では、平成23年度は28件の応募で19件の採択を得ることができた(再掲)。他に県の補助金についても7件の採択があった。

### 4.2.2 埼玉県産業技術総合センターが参加する産学官共同研究実施実績

施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成23年度 イノベーションシステム整備事業地域 イノベーションクラスタープログラム(都 市エリア型)【埼玉・圏央エリア】 (文部科学省)	高分子進化技術を核とするバイオ・もの づくりクラスターの形成	ジェナシス(株) (株)ライフテック アスビオファーマ(株) (株)エヌビー健康研究所 ヒラソルバイオ(株) (株)ビー・エム・エル 片倉工業(株) (株)カイオム・バイオサイエンス (株)トミーデジタルバイオロジー (株)イムノ・プローブ (株)ニコインストルメントカンパニー (株)オプトクエスト 埼玉大学 東京大学 お茶の水女子大学 埼玉医科大学 新潟大学 九州大学 豊橋技術科学大学 (独)理化学研究所 埼玉県立がんセンター
平成23年度 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	成形サイクルの短縮に係わる型技術の 開発	池上金型工業(株) (株)サン精密化工研究所
	超小型内視鏡部品製造のための知的ポ スト処理システムによる高精度切削加工 技術の開発	(株)金子製作所 埼玉大学
	発酵食品製造における微生物汚染防止 のための品質管理システムの開発	コージンバイオ(株) (有)エスカル アース環境サービス(株)
	ナノフェライト粒子の量産製造技術の開 発と応用展開	(株)高純度化学研究所 リンテック(株) 浮間合成(株) FDK(株) アンテナ技研(株) 埼玉大学
平成22年度(予備費事業) 戦略的基盤技術高度化支援事業 (関東経済産業局)	硬質六価クロムめっきに代わる微粒子分 散複合めっき技術の開発	吉野電化工業(株) (株)吉野ハード (株)金子製作所 関東学院大学
	電気自動車の走行モータ用超軽量シャ フトを実現する超精密摩擦圧接システム の開発	(株)秋山製作所 日本大学
	アルミ鍛造の生産工程削減を可能とする 潤滑油の開発	(株)青木科学研究所 静岡大学 (独)国立高等専門学校機構 小山工業高等専門学校



施策名(実施機関)	プロジェクト名	共同研究体制
平成 23 年度 次世代自動車用高性能蓄電システム 技術開発 (独)新エネルギー・産業技術総合開 発機構)	カーボンフェルト電極マイクロ波放電を 利用したマグネシウム二次電池正極活 物質の研究開発	埼玉工業大学
研究成果最適展開支援プログラム (A-STEP) (独)科学技術振興機構)	開創部の骨形状を術中、実時間に光三 次元計測し、人工関節の個別最適化を 実現する手術支援システムの研究開発	(株)レキシ アルスロデザイン(株) 埼玉医科大学

### 4.3 特許の取得推進とその活用

#### 4.3.1 産業財産権の一覧

##### (1) 特許権

平成 23 年度は新たに 4 件の特許出願があった。

下表はセンターが所有する特許全 48 件(未公開 7 件含む)のうち、登録又は出願公開されたものである。なお、センターでは産業財産権のうち特許以外の出願及び権利の所有はない。

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
1	成形鏡面研削装置	H10.2.26 特願平 10-045434	H11.9.7 特開平 11-239969	H20.4.4 4104199	永井 寛 野口 清隆 新井 尚機 戸枝 保 出口 貴久 進藤 久宜 小熊 広之	(独)理化学研究所 共同
2	データ入力装置	H12.8.10 特願 2000-242343	H14.2.20 特開 2002-55759	H19.6.8 3967531	町田 芳明	
3	チタン系金属製品の製造方法及びチタン系金属製品	H14.6.17 特願 2002-176243	H16.1.22 特開 2004-18954	H22.8.20 4570315	出口 貴久	(株)アクトメント 共同
4	超磁歪素子の伸縮制御装置	H14.12.4 特願 2002-352179	H16.7.2 特開 2004-187419	H20.3.28 4102655	荻野 重人 宇野 彰一	
5	発酵風味菓子の製造方法	H15.6.6 特願 2003-162045	H16.12.24 特開 2004-357631	H20.9.19 4188146	井上 和春	みたけ食品工業(株)、(株) 愛工舎製作所 共同
6	微小変位制御装置およびそれを用いた装置と方法	H15.7.23 特願 2003-278137	H17.2.17 特開 2005-43239	H20.3.28 4102722	荻野 重人	
7	粘弾性測定装置及び粘弾性測定方法	H15.10.31 特願 2003-372299	H17.5.26 特開 2005-134295	H21.4.21 4299100	関根 正裕 荻野 重人	(有)サンズコーポレ ーション 共同
8	成型物の製造方法	H15.12.1 特願 2003-401363	H17.6.23 特開 2005-161605	H20.8.22 4171788	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォ レスト西川 共同
9	植生材及びその製造方法	H15.12.5 特願 2003-407471	H17.6.23 特開 2005-160447	H21.11.27 4414210	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォ レスト西川 共同
10	チタン系金属製品の製造方法	H16.2.27 特願 2004-53845	H17.9.8 特開 2005-240144	H22.2.5 4452524	出口 貴久	(株)アクトメント 共 同
11	漬床及びこれを用いた漬物の製造方法	H16.3.30 特願 2004-098398	H17.10.13 特開 2005-278531	H20.10.24 4205006	井上 和春 大澤 千恵子	みたけ食品工業(株)、 (株)愛工舎製作所、東洋 大学 共同
12	積層板及びその製造方法	H16.5.11 特願 2004-140996	H17.11.17 特開 2005-319733	H22.6.11 4527238	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォ レスト西川 共同
13	成型物の製造方法	H16.8.3 特願 2004-226677	H18.2.16 特開 2006-43984	H21.7.31 4349650	山本 誠	(株)クラレ、(協)フォ レスト西川 共同
14	大腸菌群の汚染源特定方法及びその検出に使用する大腸菌群検出用培地セット	H17.8.8 特願 2005-229680	H19.2.22 特開 2007-43921	H23.7.29 4789540	富永 達矢 関根 正裕	
15	超微小硬さ等測定装置及び測定方法	H17.11.18 特願 2005-334061	H19.6.7 特開 2007-139592	H21.9.18 4376858	荻野 重人	
16	チタン系金属材料用電解エッチング液及びチタン系金属製品の製造方法	H18.1.16 特願 2006-7700	H19.7.26 特開 2007-186776	H24.2.17 4925670	出口 貴久	
17	ドリルのシンニング装置及びシンニング形成方法	H18.2.3 特願 2006-27551	H19.8.16 特開 2007-203427	H23.12.16 4882103	南部 洋平 落合 一裕	日本ノズル精機 (株) 共同
18	センサー機能付アクチュエータ装置および粘弾性測定装置	H18.7.20 特願 2006-198697	H20.2.7 特開 2008-29111		関根 正裕	(有)サンズコーポレー ション、(有)カトランスフォー マ、共同
19	変形測定装置、変形測定方法及び変形測定プログラム	H19.3.19 特願 2007-69810	H20.10.2 特開 2008-232686		白石 知久 栗原 英紀	

番号	名 称	出願年月日 出願番号	公告・開年月日 公告・開番号	登録年月日 登録番号	発明者	備考
20	身体傾斜角計測器及び身体ねじれ角計測器	H19.5.29 特願 2007-141889	H20.12.11 特開 2008-295527	H23.12.16 4885795	半田 隆志	他 2 名 共同
21	溶接装置及び溶接方法	H19.6.1 特願 2007-146598	H20.12.11 特開 2008-296260		白石 知久 栗原 英紀	他 1 名 共同
22	耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄の製造方法及び耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H19.6.7 特願 2007-151716	H20.12.18 特開 2008-303425	H23.8.5 4796994	永野 正明 森田 憲輔	児玉鋳物(株) 共同
23	汚染粒子処理装置	H19.6.12 特願 2007-155197	H20.12.25 特開 2008-307436	H22.10.1 4596433	栗原 英紀 井村 俊彦	埼玉大学 共同
24	研削加工用砥石の製造装置及び製造方法	H19.6.15 特願 2007-158686	H20.12.25 特開 2008-307647		落合 一裕 南部 洋平	(株)タナカ技研、 埼玉大学 共同
25	樹脂構造物の製造方法	H19.3.23 特願 2007-76552	H20.10.2 特開 2008-231355		山田 岳大	
26	繊維材料の染色方法	H19.3.27 特願 2007-81561	H20.10.9 特開 2008-240190		横井 克行	
27	大腸菌群に属する細菌の検出方法	H20.4.28 特願 2007-117212	H21.11.12 特開 2009-261363		富永 達矢 関根 正裕	
28	動的粘弾性測定装置	H21.6.1 特願 2009-131935	H22.2.4 特開 2010-25923		山田 岳大 関根 正裕	
29	加熱調理装置及び加熱調理方法	H22.3.12 特願 2010-516841	H21.12.7 PCT/JP2009/60429		関根 正裕 樋口 誠一 高橋 学 常見 崇史	(株)T.M.L、学校法人早稲田大学 共同
30	振動生成装置、動的粘弾性測定装置、及び、動的粘弾性測定装置	H20.8.22 特願 2008-214580	H22.3.4 特開 2010-48722		関根 正裕	(株)GMタケ- 共同
31	変位拡大装置	H20.9.8 特願 2008-229737	H22.3.25 特開 2010-68549		荻野 重人	
32	品質評価装置	H20.10.27 特願 2008-275700	H22.5.6 特開 2010-101839		関根 正裕 栗原 英紀 富永 達矢	(株)真韻 共同
33	ドレッシングの素、ドレッシング及びドレッシングの素の製造方法	H20.12.26 特願 2008-331697	H22.7.8 特開 2010-148468		井上 和春	みたけ食品工業 (株)、東洋大学、 (株)愛工舎製作所 共同
34	二次電池	H21.3.30 特願 2009-81371	H22.10.14 特開 2010-232148		栗原 英紀 井村 俊彦	
35	耐アルミニウム溶湯溶損性鋳鉄の製造方法およびアルミニウム溶湯溶損性鋳鉄	H21.4.28 特願 2009-99126	H22.11.4 特開 2010-248571		森田 憲輔 永野 正明 矢澤 貞春	児玉鋳物(株) 共同
36	射出成型装置	H21.4.28 特願 2009-110173	H22.11.18 特開 2010-260175	H22.11.19 4628476	山田 岳大	PLAMO(株) 共同
37	正極活物質、マグネシウム二次電池および正極活物質の製造方法	H21.11.17 特願 2009-261903	H23.6.2 特願 2011-108478		栗原 英紀 斉田 吉裕 稲本 将史	
38	加熱調理装置、および、加熱調理方法	H22.3.12 PCT/JP2010/54256	H23.9.15 WO/2011/111231		関根 正裕	(株)T.M.L、(株)新井機械製作所 共同
39	バーチャルウエスタンブロットティングシステム	H22.4.28 PCT/JP2010/57569	H23.11.3 WO/2011/135701		関根 正裕	(株)エヌビー健康研究所 共同
40	品質保持剤およびその用途	H22.7.2 特願 2010-151674	H24.1.19 特願 2010-10658		小島登貴子 樋口 誠一 仲島日出男	
41	モリブデン系金属材料用電解加工液、およびこれを用いるモリブデン系金属製品の製造方法	H22.7.2 特願 2010-152188	H24.1.19 特願 2012-11520		出口 貴久	

#### 4.3.2 実施許諾

本年度は「超微小硬さ等測定装置および測定方法」の 1 件の実施許諾契約を締結し、実施許諾先企業数は合計 18 社(使用特許数は 23 件)となった。

## 5 交流

県内中小企業の技術交流を支援するとともに、他の鉱工業公設試験研究機関との交流に努めた。また、講演会、審査会、各種会議等に職員を派遣した。

### 5.1 異業種交流支援事業

#### 5.1.1 産学官交流プラザ

埼玉県技術交流プラザ終了企業を中心として発足し、技術及び経営等に関する情報交換、大学・企業等との交流、研修会及び講演会等の産学官交流を行った。総会・例会・研修会・役員会の開催 12 回、参加者 100 名であった。主な活動実績は次のとおりである。

会 長: 河野 律子(有限会社 河野経営研究所 代表取締役)  
 会員数: 33 社

年月日	開催場所	内 容
H23.5.27	埼玉県男女共同参画推進センター	◇平成23年度総会 ◇講演会「放射線の話(正しく怖がる術)」 株式会社日本中性子光学 代表取締役 理化学研究所イノベーション推進センター ものづくり高度計測技術開発チーム 物理学博士 広田克也氏
H23.6.13	大宮ソニックシティ	第1回例会 講演「農業機械の現状について」 株式会社新農林社 代表取締役社長 岸田義典氏
H23.7.8,9	有限会社四万十みはら菜園	第1回研修会 「製造業の知恵の生かせる農業」
H23.10.11	大宮ソニックシティ901号	第2回研修会 カゴメ契約農場「(有)四万十みはら菜園」見学の報告会
H23.11.22	KYB株式会社岐阜北工場	第2回例会 KYB株式会社岐阜北工場の見学会
H24.1.30	大宮ソニックシティ	第3回例会 講演会「メタンハイドレート資源開発の現状について」 独立行政法人産業技術総合研究所 メタンハイドレート研究センター センター長 成田秀夫氏
H24.3.16～ 3.17	福井県福井市、鯖江市、大野市	①福井めがね工業株式会社、②株式会社松浦機械製作所 ③三国アグリテクノ株式会社・農事法人三国バイオ農場、④ゆいファームの視察

#### 5.1.2 埼玉県北部地域技術交流ネットワーク(埼北ネット)

北部研究所強化事業の一環として、県北地域の中小企業経営者を中心に平成 20 年度に発足した異業種グループで、活動実績は次のとおりである。

代表幹事: 田端 克雄((有)フィールド・サイド 代表)  
 会 員 数: 10 名

年月日	開催場所	内 容
H23.4.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第 1 回例会 ・平成 23 年度の活動計画 ・情報交換
H23.5.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第 2 回例会 ・情報交換
H23.6.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第 3 回例会 ・話題提供 ・情報交換
H23.7.28	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第 4 回例会 ・情報提供 田端克雄氏 ・情報交換

年月日	開催場所	内 容
H23.9.13	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第5回例会 ・農商工連携について ・情報交換
H23.10.7	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第6回例会 ・産地中小企業の新しい取り組みについて ・情報交換
H23.11.2	東京国際フォーラム展示ホール	◇第7回例会 ・技とテクノの融合展 2011 の視察
H23.11.9	ものづくり大学	◇第8回例会 ・埼玉北部地域技術交流会
H22.12.6	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第9回例会 ・情報交換
H24.1.25	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第10回例会 ・情報提供「ビジネスアリーナ 2012 について」 ・情報交換
H24.2.17	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第11回例会 ・情報交換
H24.3.15	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇第12回例会 ・情報交換 ・来年度の埼北ネット運営について

### 5.1.3 埼玉食品テクノプラザ

食品関係の技術開発や経営管理等の講演会への参加、各県アンテナショップへの視察等、活発な交流活動を実施した。

代表幹事： 笹木 弘治(笹木醤油(株) 代表取締役社長)

会 員 数： 16 名

年月日	開催場所	内 容
H23.5.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会
H23.5.31	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇講演会 「緊急節電・省エネセミナー」
H23.6.23	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇役員会 ◇総会 ・平成22年度事業報告 平成22年度決算報告 ・平成23年度事業計画 平成23年度予算 ・役員選出
H23.9.26	東京都	◇都内視察 ・セレブデトmat青山本店 ・にんべんダシバー ・三越、日本橋高島屋デパ地下
H23.10.11	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇北部研究所研究発表会 ・研究発表会 加工関連技術5テーマ、食品・バイオ技術7テーマ ・技術講演会 講演「食品の安全性・科学的見方と細菌の話題」 講師 お茶の水女子大学大学院教授 村田 容常 氏
H24.3.7	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	◇講演会 講演「みそとしょうゆの関係～穀物のおいしさを醸す微生物たち～」 講師 東京農業大学 応用生物科学部 醸造科学科 講師 東 和男 氏

#### 5.1.4 さきたま利根テクノプラザ(STTEP)

会員が抱える開発、技術関連及び経営等の課題について、情報や意見交換等を行い、中小企業の発展及び技術の向上や、技術交流及び経営交流の促進を目的とする。本グループの事務局は北部研究所が担当しており、会員は14企業である。

代 表： 小菅 一憲 (東洋パーツ株式会社 会長)

参加企業： 14 企業

年月日	開催場所	内 容
H23.4.15	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H23.5.23	熊谷市農業活性化センター	情報交換
H23.6.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H23.7.22	長瀬 長生館	情報交換
H23.9.16	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H23.10.19	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H23.11.21	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H23.12.21	藍屋 熊谷店	情報交換
H24.2.20	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換
H24.3.8	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	情報交換

## 5.2 新技術情報交流支援(研究会・交流会の開催)

各種研究会、交流会を支援するため、各会事務局を担当した。

### (1) 鋳物技術委員会

本県鋳物工業の生産技術の向上を目的として当センターの業務に有効・適切な助言と指導を受けるため、年間4回の委員会を開催した。主な事業は鋳造技術コンクールに関する助言、鋳造技術に関する講演会・講習会の内容の検討等である。なお、委員会は、県依頼の委員3名、業界依頼の委員4名及び川口市職員1名、県職員2名の10名の委員にオブザーバー1名の、合計11名で構成する。

平成23年度は委員会を4回開催し、参加者は延べ57名であった。

(役員)	委員長	川口鋳物工業協同組合	技術顧問	山中 昇
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	金属材料・評価担当	
		川口鋳物工業協同組合	総務課	

### (2) 埼玉県ものづくり研究会

本研究会は、ものづくりのコア技術ならび関連技術の普及、向上に寄与することを目的に、平成19年7月に埼玉県NC工作機械研究会と埼玉県金型研究会を発展的に統合し設立され、講演会、講習会の開催、加工・組み立て技術に関する研究開発、技術者の養成等を主な事業としている。平成23年度は、講演会2回、見学会1回を開催し、参加者は、延べ73名であった。

(会員数) 正会員44社、賛助会員4社

(役員)	会長	(株)田口型範	田口 順
	副会長	藤田企画	藤田 賢二
	〃	(株)ユニテック	斉藤 正洋
	〃	(株)チバダイス	千葉 英樹
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	生産技術担当

### (3) 埼玉県熱処理技術研究会

本会は、熱処理関連企業の熱処理技術を向上するため、昭和44年6月に設立され、講演会の開催、工場見学、会報の発行を主な事業としている。

平成23年度は講演会を2回、講習会を2回開催し、参加者は延べ221名であった。

(会員数) 63社

(役員)	会長	山方技術士事務所	山方 三郎
	副会長	(株)ユニテック	三浦 芳典
	〃	(株)オーネックス	渡部 祐一
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	金属材料・評価担当

### (4) 品質工学フォーラム埼玉(QEF 埼玉)

品質工学は、量産現場における工程管理だけでなく、製品開発や技術開発を効率よく行う工学的手段である。本研究会は、全国組織である品質工学会の埼玉県内在勤・在住の会員を中心に品質工学の普及・発展を図るために設立し、会場の提供や研究会の運営について当センターが支援している。月に一度の定例会と年に数回講演会を行っている。

平成23年度は定例会を12回開催し、参加者は延べ114名であった。

(会員数) 32名

(役員)	代表	(株)アルビオン	深澤 宏
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター	金属材料・評価担当

### (5) 埼玉県米菓研究会

会員の技術の向上並びに会員相互の親睦を図るため、研究会を開催した。

平成23年度は定例会3回開催し、参加者は延べ72名であった。

(会員数) 39社(正会員33、賛助会員6)

(役員)	会長	(株)折原米菓工場	折原 一嘉
(事務局)		埼玉県産業技術総合センター北部研究所	生物工学担当

### (6) 清酒製造技術研究会

県産清酒の品質向上、清酒の多様化に対応する品質設計、清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために研究会を開催した。

(会員数) 35社

(事務局) 埼玉県産業技術総合センター北部研究所 生物工学担当

(6.1) 市販清酒研究会

流通過程における品質について外装審査、官能評価及び成分分析の試験調査を行って把握し、新製品開発の一助にする。併せて、きき酒能力の向上を図る。

実施日：平成23年6月28日

調査試料：戦略的商品

参加者：32名(埼玉県吟友会会員、製造担当者、他)

(6.2) 清酒研究会

清酒の多様化に対応する品質並びに清酒本来の香味に富み市場価値の高い清酒について研究を行うために、出品酒の官能評価を行い、製造管理及び貯蔵・出荷管理について検討する。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成23年9月26日

出品点数：吟醸酒の部 56点(17場)

純米の部 30点(16場)

参加者：27名(杜氏、酒造担当者)

(6.3) 吟醸酒研究会

平成22酒造年度全国新酒鑑評会金賞受賞杜氏をパネラーとし、パネルディスカッション等を通じて吟醸酒造りの技術水準向上を図る。

実施日：平成23年12月14日

参加者：17名(杜氏、酒造担当者)

パネルディスカッション：「吟醸酒づくりの要点」

パネリスト 大瀧酒造(株) 菅原 杜氏

鈴木酒造(株) 多田 杜氏

松岡醸造(株) 松岡 杜氏

五十嵐酒造(株) 小林 杜氏

滝澤酒造(株) 瀧澤 杜氏

(株)小山本家酒造 松村 杜氏

講演：「吟醸酒の製造について」

講師：埼玉県産業技術総合センター北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

(6.4) 杜氏酒造研究会

清酒製造について本酒造年度における問題点を提起し、今後の酒造管理に反映させる。また、吟醸酒のきき酒を行い、酒質の判定能力の向上を図る。

実施日：平成24年3月14日

参加者：20名(杜氏、酒造担当者)

講演：「吟醸酒の管理と出品について」

講師：埼玉県産業技術総合センター 北部研究所 主任研究員 横堀 正敏

(6.5) 新酒研究会

全国新酒鑑評会への出品に向け、その候補たる火入れ酒の官能評価を行い、成分分析値と共に検討することによって、入賞および金賞受賞点数の増加を図る。

実施日：平成24年3月26日

参加者：21名(杜氏、酒造担当者)

(7) 漬物作り学校

産業技術総合センター 試験研究 北村 英三室長を講師として、埼玉県漬物組合を中心とする漬物製造企業の若手職員を対象として基礎的な講義及び実習を行い、漬物製造を担う人材育成を目指す。

実施日及び参加人数

(7.1)平成23年10月19日 第1回 「漬物とは」 参加40名

(7.2)平成23年11月9日 第2回 「発酵とは」 参加36名

(7.3)平成23年12月14日 第3回 「漬物製造・品質管理」 参加30名

(7.4)平成24年1月11日 第4回 「漬物の衛生管理」 参加31名

(7.5)平成24年2月8日 第5回 「コンプライアンス」 参加33名

参加延べ人数:170名



### 5.3 首都圏連合推進事業(公設試版)【研究発表：他県を含む】

首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県及び横浜市)の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することにより首都圏産業の活性化を図った。

- (1) 首都圏公設試連携推進会議の開催 3回(第36回～第38回)
- ① 平成23年6月3日(金) 埼玉県産業技術総合センター 交流サロン
  - ② 平成23年10月24日(月) 神奈川県庁
  - ③ 平成24年3月2日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター本部
- (2) 首都圏公設試連携推進会議(TKFフォーラム)の開催 1回(第38回)
- ① 平成24年3月2日(金) (地独)東京都立産業技術研究センター本部

(3) 研究発表者相互派遣事業

① 発表者派遣

ア) (地独)東京都立産業技術研究センター研究発表会への参加

平成23年11月10日(木)

生産技術担当 主任 山田 岳大

生産技術担当 技師 落合 一裕

イ) 千葉県産業支援技術研究所研究発表会への参加

平成23年7月28日(木)

研究企画・支援担当 主任 森田 寛之

生物学担当 主任研究員 横堀 正敏

ウ) 神奈川県産業技術センター研究発表会への参加

平成23年11月10日(木)

生産技術担当 主任 南部 洋平

生物学担当 担当部長 小島 登貴子

生物学担当 主任 常見 崇史

② 発表者受け入れ(SAITEC 研究発表会)

ア) 川口会場(本所):平成23年10月21日(金)

東京都 2名

神奈川県 1名

千葉県 1名

(4) 産業交流展 2011 への参加

① 期日:平成23年10月26日(水)～28日(金)

② 場所:東京国際展示場

(5) パートナー・グループ事業

① 微細加工分科会の実施

年月日	場所	参加者
H24.1.13	(地独)東京都立産業技術研究センター本部	生産技術担当 南部 洋平

② 熱処理・表面処理パートナーグループの実施

年月日	場所	参加者
H24.2.21	(地独)東京都立産業技術研究センター	金属材料・評価担当 福島 泰年 進藤 久宜

## (6) その他への発表(他県での研究発表会等)

本所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H23.7.28	埼玉県における放射線測定	企画・総務室 森田 寛之	平成 23 年度 千葉県産業支援 技術研究所研究 発表会	千葉県産業支援 技術研究所 研究発表会予稿集
H23.11.10	超臨界流体を用いた微細発 泡射出成形構造観察	生産技術担当 山田 岳大	平成 23 年度 (地独)東京都立産業 技術研究センター 研究発表会	平成 23 年度 (地独)東京都立産業技 術研究センター 研究発表会要旨集
H23.11.10	レーザー結晶の高効率超精密 研磨に関する研究	生産技術担当 落合 一裕	平成 23 年度 (地独)東京都立産業 技術研究センター 研究発表会	平成 23 年度 (地独)東京都立産業技 術研究センター 研究発表会要旨集
H23.11.10	ガスタービン用ノズルへの微 細深穴加工に関する研究	生産技術担当 南部 洋平	平成 23 年度 神奈川県産業技 術センターものづく り技術交流会	平成 23 年度 神奈川県産業技術セ ンターものづくり技術 交流会要旨集

北部研究所

年月日	研究題目	発表者名	発表会名	論文
				掲載雑誌名
H23.7.28	清酒酵母の開発	生物工学担当 横堀 正敏	平成 23 年度 千葉県産業支援 技術研究所研究 発表会	千葉県産業支援 技術研究所 研究発表会予稿集
H23.11.10	埼玉県産小麦麺の色調改善技 術の開発	生物工学担当 小島 登貴子	平成 23 年度 神奈川県産業技 術センターものづく り技術交流会	平成 23 年度 神奈川県産業技術セ ンターものづくり技術 交流会要旨集
H23.11.10	米粉を用いた新規製麺技術の 開発	生物工学担当 常見 崇史	平成 23 年度 神奈川県産業技 術センターものづく り技術交流会	平成 23 年度 神奈川県産業技術セ ンターものづくり技術 交流会要旨集

## 5.4 RINGS NET（新潟、群馬、埼玉 3県公設試連携）

新潟、群馬、埼玉の工業系公設試験研究機関が人材交流や設備機器の相互利用、情報の共有化などを図るとともに技術連携や事業連携などを通じて、広域的な産業支援体制を確立することを目的に設立し、下記の事業を行った。

- (1) 3県公設試連携推進会議の開催 2回
- ① 平成23年6月24日(金) 群馬県立群馬産業技術センター
  - ② 平成24年3月21日(水) 群馬県立群馬産業技術センター

(2) 研究発表者相互派遣事業

- ① 発表者派遣  
平成23年10月18日(火)  
生物学担当 担当部長 小島 登貴子
- ② 発表者受け入れ  
熊谷会場(北部研究所):平成23年10月11日(火)  
群馬県 1名  
新潟県 1名

(3) 担当分野別交流会等の開催

① 上信越公設研ネット機関長会議

年月日	場所	参加者
H23.11.22	長野県工業技術センター	副センター長 鈴木 康之 研究企画・支援担当 細野 光広

② 技術部長交流会

年月日	場所	参加者
H23.12.19	埼玉県産業技術総合センター	研究企画・支援担当 高橋 利男 研究企画・支援担当 細野 光広

③ 環境対応技術分野交流会

年月日	場所	参加者
H23.7.11	高崎市労使会館	生産技術担当 出口 貴久

④ LED技術分野交流会

年月日	場所	参加者
H23.9.21	群馬県立東毛産業技術センター	電子技術・電磁波測定担当 岩崎 正太
H24.1.16	群馬県立群馬産業技術センター	研究企画・支援担当 森田 寛之 電子技術・電磁波測定担当 岩崎 正太

⑤ 非破壊検査交流会

年月日	場所	参加者
H23.7.29	長野県工業技術センター	金属材料・評価担当 菊池 和尚
H24.2.24	(独)産業技術総合研究所	金属材料・評価担当 菊池 和尚

## 5.5 講演会等講師派遣

本 所

年月日	名 称	会 場	主催者・内容	講 師
H23.6.3	プラスチック成形加工学会第109回企画委員会	ポリプラスチック本社	プラスチック成形加工学会	山田 岳大
H23.6.29	第8回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	(公社)日本鋳造工学会 実習:超音波探傷器の取り扱い	永井 寛
H23.6.30	第8回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	(公社)日本鋳造工学会 実習:JFS 試験片を用いた超音波試験	永井 寛
H23.8.30	9都県市・首都圏イノベーション推進会議	川崎市産業振興会館	主催:川崎市	新井 尚機 (パネラー)
H23.11.16	第9回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	(公社)日本鋳造工学会 実習:超音波探傷器の取り扱い	永井 寛
H23.11.17	第9回鋳鉄品の超音波試験技術者養成講習会	埼玉県産業技術総合センター	(公社)日本鋳造工学会 実習:JFS 試験片を用いた超音波試験	永井 寛
H24.1.10	日本シーティング・コンサルタント協会2012年度総会・セミナー	北とびあ	NPO 法人日本シーティング・コンサルタント協会	半田隆志
H24.1.30～ 2.3	鋳造カレッジ・インターンシップ	埼玉県産業技術総合センター	(社)日本鋳造協会 技術と経営力を持つ次世代鋳造人材の育成	戸枝 保 笹川 俊夫 永井 寛 菊池 和尚 澁谷 康彦 矢澤 貞春 進藤 久宜 永野 正明 篠崎 誠 井上 裕之 秋山 稔 原田 雅典 赤澤 力 鈴木 昌資 麻生 信之 出口 貴久 南部 洋平 落合 一裕 町田 芳明 山川 徹郎

北部研究所

年月日	名 称	会 場	内 容	講 師
H23.7.26	南部杜氏会夏季酒造講習会	石鳥谷生涯学習会館、岩手中央農協本所	新埼玉酵母	横堀 正敏
H23.9.6	(社)日本醸友会関東信越支部講演会	大宮ソニックシティ	清酒酵母の開発	横堀 正敏
H23.11.29	平成 23 酒造年度酒造講話会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	話題提供	横堀 正敏
H24.2.6	くり「ぼろたん」の現地検討会	農林総合研究センター	栗渋皮を利用した新規機能性製品の開発	樋口 誠一
H24.2.16	熊谷商工会議所支部委員合同会議	マロウドイン熊谷	放射能汚染の風評被害に対する SAITEC の取組	齊藤 弘美

## 5.6 審査会等への派遣

本所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H23.5.13	草加モノづくりブランド実行委員会及び認定部 会合同会議	草加商工会議所会館	小林 孝司
H23.5.31	委託訓練業者選定審査会	埼玉会館	名倉 寿夫
H23.6.19	技能検定(鉄鋳物鋳造作業)	永井機械鋳造(株)	菊池 和尚
H23.6.29	平成 23 年度草加市研究開発型企業育成部門 補助金審査会	草加市役所	戸枝 保
H23.7.29	草加モノづくりブランド認定製品製造企業との意 見交換会並びに第2回認定部会	草加商工会議所会館	小林 孝司
H23.8.28	技能検定実技試験(熱処理)	オリエンタルエンジニアリング(株)	笹川 俊夫
H23.11.22	草加モノづくりブランド第3回認定部会	草加市文化会館	小林 孝司
H24.1.24	八潮市優良技術者及び技能者表彰評価会	八潮市商工会館	小林 孝司
H24.1.29	技能検定実技試験(金属材料試験)	オリエンタルエンジニアリング(株)	篠崎 誠

北部研究所

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H23.6.13	埼玉県酒造組合秩父支部初呑切会	秩父地域地場産業振興センタ ー	横堀 正敏 増田 こずえ
H23.6.23	埼玉県酒造組合西部ブロック初呑切会	小川町民会館	増田 こずえ 南澤 賢
H23.7.20	藤崎惣兵衛商店初呑切及び市販酒の出荷管 理研究会	藤崎惣兵衛商店	横堀 正敏
H23.7.21	埼玉県酒造組合中部ブロック貯蔵清酒等の品 質及び安全性の確保に関する指導および講習	関東信越国税局	横堀 正敏 鈴木 康修
H23.7.26	埼玉県酒造組合行田・熊谷支部合同初呑切会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 南澤 賢 鈴木 康修

年月日	審査会等名	会場	出席者名
H23.8.3	高校生ものづくりコンテスト・埼玉大会	県立いずみ高校	村田 一英 小島 登貴子
H23.9.20	茨城県清酒鑑評会 2011 審査会	茨城県工業技術センター	横堀 正敏
H23.9.22	第 46 回栃木県清酒鑑評会審査会	栃木県産業技術センター	増田 こずえ
H23.10.6,7	第 82 回関東信越国税局酒類鑑評会一審	関東信越国税局	横堀 正敏
H23.10.12	第 82 回関東信越国税局酒類鑑評会二審	関東信越国税局	増田 こずえ
H23.11.29	平成 23 酒造年度講話会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏
H24.1.18,19	技能検定(パン製造)	ベーカリーシステム研究所	鶴園 大
H24.1.20,23	技能検定(パン製造)	ベーカリーシステム研究所	海野 まりえ
H24.1.24	埼玉県ふるさと認証食品「味噌」官能審査会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	小島登貴子 海野 まりえ
H24.2.21	第 41 回埼玉県観光土産品審査会	大宮ソニックシティ	齊藤 弘美
H24.3.1~2	平成 23 事務年度全国市販酒類調査品質評価	関東信越国税局	横堀 正敏
H24.3.8	埼玉県酒造組合中部ブロック新酒研究会	(株)文楽	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢
H24.3.9	埼玉県酒造組合北部ブロック西部ブロック合同 新酒持ち寄り研究会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H24.3.16	第 39 回群馬県清酒品評会審査会	群馬県立群馬産業技術センタ ー	横堀 正敏
H24.3.16	食品関係調査研究評価委員会	さいたま新都心合同庁舎検査 棟	小島 登貴子

## 5.7 技術評価

新製品開発等の補助金、表彰等に応募した企業の提案課題について技術評価を実施した。

事業名	依頼元	内容	件数
草加市研究開発型企業育成部門補助金	草加市産業振興課	草加市研究開発型企業育成部門補助金審査会	2
草加モノづくりブランド認定審査会	草加市産業振興課	審査会	5
合計：2事業			7

## 5.8 会議等への参加

本所

年月日	会議名	会場	出席者
H23.4.18	日本マグネシウム協会分極電位分科会	日本アルミニウム協会	出口 貴久
H23.4.26	日本鑄造工学会・人材育成委員会	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H23.4.27	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H23.4.28	イノベーション実践企業視察会	(株)浜野製作所(墨田区) 東京彫刻工業(株)(墨田区)	鈴木 康之 巻島 秀男
H23.5.10	鑄造カレッジ企画運営委員会及び合同委員会	機械振興会館	永井 寛
H23.5.23	電気学会東京支部埼玉支所委員会	大宮ソニックシティ	能戸 崇行
H23.5.24	コラボ産学官埼玉支部技術課題相談会	埼玉県県民活動総合センター	小林 孝司
H23.5.26	埼玉県鍍金工業組合通常総会	パレスホテル大宮	傘田口 照恭 北村 英三
H23.5.27	プラスチック成形加工学会 第5回発泡・超臨界流体利用成形加工専門委員会	三菱化学	山田 岳大
H23.6.3	東日本FRP工業会総会	ホテルプリランテ武蔵野	戸枝 保
H23.6.3	プラスチック成形加工学会第109回企画委員会	ポリプラスチック本社	山田 岳大
H23.6.9	第34回新加工専門委員会	東京工業大学	山田 岳大
H23.6.15	省エネナビゲーター事業に係る第1回準備会	埼玉県庁	名倉 寿夫
H23.6.21~23	プラスチック成形加工学会 第22回年次大会実行委員会	タワーホール船堀	山田 岳大
H22.6.22	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H22.6.22	産学連携支援ネットワーク会議総会	新都心ビジネス交流プラザ	原田 勝利
H23.6.24	プラスチック振興会 総会	さいたま市民会館うらわ	北村 英三 山田 岳大
H22.6.25	鑄造カレッジ・関東地区 開校式	川口鑄物工業協同組合	永井 寛
H23.7.5	第1回超小型内視鏡部品製造開発プロジェクト委員会	(株)金子製作所	宇野 彰一 南部 洋平
H23.7.12	省エネナビゲーター事業に係る第2回準備会	埼玉県庁	名倉 寿夫
H23.7.14	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H23.7.14	電気学会東京支部埼玉支所委員会	大宮ソニックシティ	能戸 崇行
H23.7.15	プラスチック成形加工学会 第19回秋季大会プログラム編成委員会・実行委員会	産総研東北サテライト	山田 岳大
H23.7.21,22	第84回公立鉦工業試験研究機関長協議会総会	ホテル金沢	傘田口 照恭 森田 寛之
H23.7.29	産業技術連携推進会議 上信越公設研ネット第1回非破壊検査分野交流会	長野県工業技術総合センター	菊池 和尚
H23.8.4	平成23年度第1回埼玉オプトビレッジ構想推進事務局会議	県庁危機管理防災センター	巻島 秀男 原田 勝利
H23.8.5	プラスチック成形加工学会第110回企画委員会	五反田文化会館	山田 岳大

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H23.8.30	9都県市・首都圏イノベーション推進会議	川崎市産業振興会館	新井 尚機 巻島 秀男
H23.8.30	産業技術連携推進会議 関東甲信越静地域部 会総会 産業技術分科会	(独法)産業技術研究所 臨 海副都心センター	鈴木 康之 戸枝 保 細野 光広
H23.9.13	日本弁理士会 中央知的財産研究所 第 9 回 公開フォーラム	全社協・灘尾ホール	細野 光広
H23.9.15	電気学会東京支部埼玉支所委員会	大宮ソニックシティ	能戸 崇行
H23.9.20	プラスチック成形加工学会 第 23 回年次大会 実行委員会	京都工芸繊維大学	山田 岳大
H23.9.21,22	第 102 回全国公設鉦工業試験研究機関事務 連絡会議	飛騨地域地場産業振興セン ター	増田 伸二 森田 寛之
H23.9.27	第 35 回新加工専門委員会	東京大学	山田 岳大
H23.9.29	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H23.9.29,30	産業技術連携推進会議製造プロセス部会 第 18 回表面技術分科会	京都 平安ホテル	清水 宏一
H23.10.13	H23年度特許法等改正説明会	中野サンプラザ	細野 光広
H23.10.13～ 15	プラスチック成形加工学会 第 19 回秋季大会 プログラム編成委員会・実行委員会	秋田大学	山田 岳大
H23.10.27	プラスチック成形加工学会第 6 回発泡・超臨界 流体利用成形加工専門委員会	千葉市幕張勤労市民プラザ	山田 岳大
H23.10.28	電気学会東京支部埼玉支所講演会・委員会	埼玉大学	能戸 崇行
H23.10.29	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H23.10.29	第 8 回品質工学合同研究会	長野県下高井郡 清風荘	井上 裕之
H23.11.2	電気学会見学会	安川電機 人間事業所	能戸 崇行
H23.11.6	ISO 会議(ISO/TC173/SC1/WG)	Dublin	Takashi Handa
H23.11.8	電気学会見学会	J-power 磯子火力発電所	能戸 崇行
H23.11.9	知的財産権制度説明会(実務者向け)	サンパール荒川	細野 光広
H23.11.10,11	産業技術連携推進会議 情報通信・エレクトロ ニクス部会 第 16 回電磁環境分科会および第 21 回 EMC 研究会	高松シンボルタワー/香川産 業頭脳化センタービル	宗形 隆史
H23.11.18	平成 23 年度全国公設鉦工業試験研究機関事 務連絡会議 関東甲信越静ブロック会議	ベルクラシック甲府	小口 正浩
H23.11.22	上信越ネット機関長・企画担当者会議	長野県工業技術総合センタ ー	鈴木 康之 細野 光広
H23.11.24	産業技術連携推進会議 製造プロセス部会 第 51 回金型・材料研究会および第 7 回 MEMS ものづくりネットワーク研究会	猿沢荘(奈良市)	出口 貴久
H23.11.28	第3次補正予算説明会	さいたま新都心合同庁舎1号 館	巻島 秀男 細野 光広
H23.12.1,2	産業技術連携推進会議 ナノテクノロジー・材 料部会素形材分科会	愛知県産業労働センター 他	菊池 和尚
H23.12.1,2	産業技術連携推進会議 平成 23 年度知的基 盤部会 総会及び計測分科会	KKR ホテル熊本	宇野 彰一 信本 康男
H23.12.2	知的財産権制度説明会(実務者向け)	ゆうぽと ゆうぽうとホール	細野 光広
H23.12.2	関東甲信越静地域産業技術連携推進会議	神奈川県産業技術センター	鈴木 康之
H23.12.6	電気学会公開シンポジウム	国立オリンピック記念青少年セン ター	能戸 崇行
H23.12.7	コラボ産学官埼玉支部 技術課題相談会	アクシス春日部	戸枝 保
H23.12.8	第 36 回新加工専門委員会	東京工業大学	山田 岳大
H23.12.8	知的財産権制度説明会(実務者向け)	サンパール荒川	細野 光広
H23.12.16	電気学会埼玉支所見学会	航空自衛隊 人間基地	能戸 崇行
H23.12.19	上信越ネット技術部長会議	新潟県工業技術総合センタ ー	高橋 利男 細野 光広
H24.1.12	プラスチック成形加工学会第 112 回企画員会	電気通信大学	山田 岳大

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H24.1.18	第2回超小型内視鏡部品製造開発プロジェクト委員会	新都心ビジネス交流プラザ	宇野 彰一 南部 洋平
H24.1.23	国際知的財産活用フォーラム	ホテル日航東京	細野 光広
H24.1.25	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.1.31	環境科学国際センター講演会	埼玉会館	巻島 秀男 小口 正浩
H24.2.3	多府省連携フォーラム	さいたま新都心合同庁舎1号館	巻島 秀男 細野 光広
H24.2.3	プラスチック成形加工学会第127回講演会「医療と高分子材料加工技術の今後の展望」-再生医療の基材と成形加工の展開性-	工学院大学新宿キャンパス	山田 岳大
H24.2.10	プラスチック成形加工学会 第22回年次大会プログラム編成委員会・実行委員会	東京工業大学	山田 岳大
H24.2.15	コラボ産学官埼玉支部 技術課題相談会	草加アコスホール	戸枝 保
H24.2.16	プラスチック成形加工学会 第45回技術交流会	株式会社グリーンサイクルシステムズ	山田 岳大
H24.2.17	NMIJ 計測クラブ 第11回電磁界クラブ	福島ハイテックプラザ	能戸 崇行
H24.2.18	鑄造カレッジ・関東地区 発表会及び修了式	ホテルふせじま	永井 寛
H24.2.20	電気学会東京支部埼玉支所委員会	大宮ソニックシティ	能戸 崇行
H24.2.22	川口機械工業協同組合「総務委員会」	川口機械工業協同組合	澁谷 康彦
H24.2.24	産業技術連携推進会議 上信越公設研ネット第2回非破壊検査分野交流会	産業技術総合研究所	菊池 和尚
H24.2.24	関東甲信越静 EMC 研究交流会	群馬県立東毛産業技術センター	能戸 崇行
H24.2.27	第11回JIPA知財シンポジウム	東京国際フォーラム	細野 光広
H24.2.27	産学連携支援ネットワーク会議 幹事会	産学連携支援センター埼玉	原田 勝利
H24.3.9	プラスチック成形加工学会 第20回秋季大会実行委員会	名城大学サテライト	山田 岳大
H24.3.9	産業技術連絡推進会議総会	アルカディア市ヶ谷	牟田口 照恭 森田 寛之
H24.3.9	電気学会東京支部埼玉支所研究発表会	新都心ビジネス交流プラザ	能戸 崇行
H24.3.9,10	ISO 会議(ISOTC173/SC1/WG)	Vancouver	Takashi Handa
H24.3.12,13	電気学会 電磁環境研究会	観水庭こぜにや	能戸 崇行

北部研究所

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H23.4.18	緊急シンポジウム「放射性物質の食品影響と今後の対応」	(独)農研機構 食品総合研究所	小島 登貴子 富永 達矢 鶴藪 大
H23.4.23	放射線測定講習会	(独)産業技術総合研究所	鈴木 理博 富永 達矢
H23.4.27	放射線量測定業務講習会	(地独)東京都立産業技術研究センター	鈴木 理博 小林 茂 小島 登貴子
H23.5.12	埼玉県吟友会平成22年度通常総会	グリーズベイホテル	増田 こずえ
H23.5.17	首都圏4大学新技術説明会	新都心ビジネスプラザ	常見 崇史 樋口 誠一
H23.5.19	第58回埼玉県酒造組合通常総会	岸権旅館	齊藤 弘美
H23.5.24,25	第47回(独)酒類総合研究所講演会 H22 酒造年度全国新酒鑑評会製造技術研究会	東広島市市民文化センター	南澤 賢
H23.5.25	第64回埼玉醤油工業協同組合通常総会	ホテルガーデンパレス	齊藤 弘美
H23.5.25	第62回埼玉県生麺業協同組合通常総会	大宮サンパレス	小島 登貴子
H23.5.25	第41回埼玉県漬物協同組合通常総会	埼玉グランドホテル深谷	増田 伸二
H23.5.27	埼玉産小麦ネットワーク交流研修会	With You さいたま	小島 登貴子 海野 まりえ 成澤 朋之



年月日	会 議 名	会 場	出席者
H23.6.3,4	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会総会	新潟県十日町市商工会議所 会館エコマール	齊藤 弘美
H23.6.4	信州大学ファイバーイノベーション・インキュベータ開所式	信州大学	高柳 博通
H23.6.14	埼玉県酒造業感謝状贈呈式	知事公館	齊藤 弘美
H23.6.15	日本酒フェア 2011(平成 22 酒造年度全国新酒鑑評会公開きき酒会、第 5 回全国日本酒フェア)	池袋サンシャインシティ	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H23.6.16	財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2011 年度第 1 回評議員会	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター	齊藤 弘美
H23.6.17	熊谷工場懇話会・第 41 回通常総会	マロウドイン熊谷	齊藤 弘美
H23.6.21	エキナセア特産品協議会	寄井町商工会	小島 登貴子
H23.6.23	震災復興技術支援フォーラム	(地独)東京都立産業技術研究センター	竹内 了 鶴菌 大
H23.6.23,24	関東甲信越地区食品醸造研究会	新潟県工業技術総合研究所	細井 永次
H23.6.27	埼玉県食料産業クラスター協議会及びプロジェクト検討委員会	マロウドイン熊谷	齊藤 弘美 小島 登貴子
H23.6.27	埼玉県食品工業協会・第 47 回通常総会	マロウドイン熊谷	齊藤 弘美
H23.6.28	「FIND Chichibu」総会	秩父地域地場産業振興センター	高木 利光
H23.7.6	埼玉仮想工業団地通常総会	長瀨町長生館	持田 紀久雄
H23.7.14,15	産業技術連携推進会議繊維分科会デザイン研究会	群馬県繊維工業試験場	竹内 了 高橋 広子
H23.8.24	埼玉県酒造協同組合第 42 回通常総会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	齊藤 弘美
H23.8.24	酒税法等説明会	埼玉県産業技術総合センター 北部研究所	横堀 正敏 南澤 賢
H23.8.25	第 84 回公立鉦工業試験研究機関長協議会第 1 回分科会	(地独)東京都立産業技術研究センター	鈴木理博
H23.9.2	AACC International 日本支部講演会	(社)日本パン技術研究所	小島 登貴子
H23.9.6	第 17 回日本醸友会関東信越支部講演会	大宮ソニックシティ	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H23.9.8	財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2011 年度第 3 回評議員会	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター	齊藤 弘美
H23.9.9	平成 23 年度「さけ武蔵」現地検討会	中条・奈良支部管内圃場	横堀 正敏
H23.9.9~11	日本食品科学工学会大会	東北大学	小島 登貴子 樋口 誠一
H23.9.21	第 35 回酒米懇談会	北区滝野川会館	南澤 賢
H23.9.21,22	第 102 回全国公設鉦工業試験研究機関事務連絡会議	飛騨地域地場産業振興センター	増田 伸二
H23.10.4,5	日本醸造学会大会	北とぴあ・つつじホール	横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H23.10.12	γ線核種分析のための講習会	(社)日本アイソトープ協会	小島 登貴子 成澤 朋之
H23.10.17	第 56 回全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎	横堀 正敏
H23.10.18	上信越公設研ネット合同成果発表会	群馬産業技術センター	小島 登貴子 海野 まりえ
H23.10.18	日本醸友会シンポジウム	北とぴあ・つつじホール	南澤 賢
H23.10.18	Noodle World 2011	パシフィコ横浜	常見 崇史
H23.10.19	エキナセア特産品協議会	寄井町商工会	小島 登貴子
H23.10.19	日本食品分析センター発表会	渋谷区文化総合センター	樋口 誠一

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H23.11.1	第 82 回関東信越国税局酒類鑑評会技術研究会	さいたま新都心合同庁舎	増田 こずえ 横堀 正敏 南澤 賢 鈴木 康修
H23.11.1	食品関係技術研究会	エポカルつくば	小島 登貴子 樋口 誠一
H23.11.1	第 82 回関東信越国税局酒類鑑評会表彰式	さいたま新都心合同庁舎	齊藤 弘美
H23.11.7	食品工業協会 H23 年度講習会 「放射線について」	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	横堀 正敏 樋口 誠一 富永 達矢 鶴菌 大 南澤 賢
H23.11.11	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会関東・東北地域連絡会生産技術連絡会	栃木県産業技術センター繊維技術支援センター	清水 英明
H23.11.16	関東東海北陸農業試験研究推進会議 流通加工部会	(独)農研機構	小島 登貴子
H23.11.17	消費安全技術センター研究発表会	新都心合同庁舎	小島 登貴子
H23.11.18	産業技術連携推進会議ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会関東・東北地域連絡会繊維測定技術研究会	埼玉県産業技術総合センター北部研究所	齊藤 弘美 増田 伸二 高柳 博通 清水 英明
H23.11.28	農研機構産学連携・普及実用化フォーラム「国産パン用小麦ゆめちから」	(独)農研機構	常見 崇史 鶴菌 大 海野 まりえ 成澤 朋之
H23.11.29	埼玉県農林総合研究センター研究発表会	大宮ソニックシティ	小島 登貴子
H23.11.29	食品品質保持技術研究会講演会	四谷主婦プラザ F	富永 達矢
H23.12.1~2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会分析技術共同研究及び討論会	KKRホテル熊本	鈴木 理博
H23.12.1~2	産業技術連携推進会議 知的基盤部会 分析分科会形状計測研究及び討論会	KKRホテル熊本	大木 健司
H23.12.13	FIND Chichibu 中間報告会	秩父地域地場産業振興センター	高木 利光
H24.1.5	熊谷捺染組合新年総会	熊谷レストランアーク	増田 伸二
H24.1.5	埼玉県酒造組合・全員協議会	キングアンバサダーホテル	齊藤 弘美 小島 登貴子 横堀 正敏 常見 崇史 鶴菌 大 南澤 賢 鈴木 康修
H24.1.11	所沢織物商工協同組合賀詞交換会	ヘリテージ・リゾーツ飯能	持田 紀久雄
H24.1.20	埼玉県生麺業協同組合新年会	大宮サンパレス	小島 登貴子
H24.1.26	埼玉醤油工業協同組合新年会	ホテルガーデンパレス	齊藤 弘美
H24.1.31~2.1	産業技術連携推進会議第 43 回関東甲信越静地域部会 食品・バイオ分科会	(独)産業技術総合研究所つくばセンター (地独)東京都立産業技術研究センター	小島 登貴子 常見 崇史 富永 達矢
H24.2.10	埼玉県農商工連携フェア	さいたまスーパーアリーナ	高木 利光 小島 登貴子 樋口 誠一
H24.2.19	公開講座「放射線を知る」	東京大学	鈴木 理博
H24.2.21	埼玉県漬物協同組合新年会・研修会	熊谷ロイヤルホテルすずき	齊藤 弘美 小島 登貴子
H24.3.6	第 84 回公立鉦工業試験研究機関長協議会第 3 回分科会	仙台サンプラザホール	鈴木 理博
H24.2.23,24	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	齊藤 弘美 小島 登貴子 成澤 朋之

年月日	会 議 名	会 場	出席者
H24.3.29	財団法人本庄国際リサーチパーク研究推進機構 2011 年度第 5 回評議員会	早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター	齊藤 弘美

## 6 情報提供

当センターの利用を促進し、業務の成果・結果などを公表するため、各種印刷物の発行やウェブサイト上での情報発信を行った。また、記者発表等を行うことにより、各種メディアに取り上げられた。

### 6.1 研究報告

研究報告 第9巻(平成23年度) 平成23年7月発行 600部

### 6.2 利用促進

#### 6.2.1 業務報告

平成22年度 業務報告 平成23年9月発行 700部

#### 6.2.2 その他の印刷物の発行

機器利用・依頼試験料金表 平成23年4月発行 3,000部

#### 6.2.3 インターネットによる技術情報の提供

##### (1) ウェブページ

当センターのインターネットウェブページで主に以下の内容について情報提供した。

- ・平成15年度～平成22年度研究報告
- ・依頼試験案内、開放機器の案内、開放機器研修日程
- ・技術アドバイザー制度の案内、技術アドバイザーデータベース
- ・貸し会議室、貸し研究室
- ・研修会、講演会等の開催案内
- ・企業データベース

##### (2) メールマガジン等

県内中小企業の新技術・新製品の開発を支援するため、当センターに関連する産業情報をメールマガジンにより迅速に発信した。

発行件数 29件

また、電子メールによる「インターネット技術相談窓口」には677件の問い合わせがあった。

#### 6.2.4 記者発表

年月日	タイトル
H23.4.27	貸研究室4室(3タイプ)の入居者を募集します
H23.5.12	工業製品の放射線検査を開始
H23.6.3	中小企業の節電・省エネを支援します。一省エネサポートチームによる支援開始
H23.9.9	平成23年度 SAITEC 研究発表会を開催ー新たな技術を発見しませんかー
H23.10.17	災害時、福祉、医療現場用「簡易トイレ」の共同開発についてー安全、衛生的でコストダウンを実現ー
H23.10.26	重イオンビームを利用した吟醸酒用の新しい酵母の開発
H23.10.27	第8回埼玉北部地域技術交流会を開催します

#### 6.2.5 マスメディア報道

##### (1) 新聞報道

年月日	新聞名	内容
H23.4.19	埼玉新聞	埼玉県南特集 川口・蕨 産業技術総合センター
H23.4.20	日本経済新聞	工業製品 県も放射線測定
H23.4.20	産経新聞ネット	工業製品 放射線測定開始
H23.4.21	読売新聞	工業製品の放射線量検査
H23.4.21	産経新聞	県 来.中旬から放射線測定
H23.4.21	日刊工業新聞	公設試、東北関東で放射線測定 (記事中に SAITEC の動向について記述)
H23.4.26	日刊工業新聞	中小訪問 省エネ提案(省エネサポートチーム)

年月日	新聞名	内 容
H23.5.11	日本経済新聞	すぐできる 企業の節電・省エネ対策セミナー
H23.5.12	日本経済新聞	中小の節電対策支援 埼玉ではセミナー開催(記事中に SAITEC のセミナーに言及)
H23.5.12	日刊工業新聞	横顔 (センター長紹介)
H23.5.13	埼玉新聞	放射線測定開始(放射性物質 県調査記事)
H23.5.17	日本経済新聞	工業製品向け放射線量検査
H23.5.18	読売新聞	放射線量検査 工業製品で開始
H23.5.19	日刊工業新聞	節電・省エネ対策セミ
H23.5.19	日刊工業新聞	省エネチーム編成
H23.5.20	埼玉新聞	企業の節電・省エネ対策セミナー
H23.5.23	日刊工業新聞	工業製品の放射線量検査
H23.5.23	埼玉新聞	中小企業支援で研究室貸し出し
H23.5.27	日本経済新聞 埼玉欄	彩の国設計図 センター長紹介
H23.5.27	毎日新聞 埼玉欄	北部研究所 省エネセミナー
H23.5.31	日刊工業新聞 第2部	埼玉特集 彩の国主要担当者に聞く (センター長)
H23.6.1	日刊工業新聞	ラウンジ 夏場対策の先導役 (センター長)
H23.6.7	日本経済新聞 埼玉欄	県内中小の節電支援 「省エネチーム」出動
H23.7.15	日本経済新聞	デジタルモデリング無料体験セミナー (CADCAE)
H23.10.7	日刊工業新聞	食品・バイオで研究発表会 (北部研究所の研究発表会)
H23.10.12	日刊工業新聞	21日研究発表会 埼玉県産業技術総合センター
H23.10.18	埼玉新聞	県、加須企業が開発 臭い消す簡易トイレ
H23.10.18	日本経済新聞	県と組み簡易トイレ ハマ電子自動密封、災害用に
H23.10.20	朝日新聞	汚物を自動密封 簡易トイレ開発 加須のメーカーと県
H23.10.24	食料新聞	漬物作りの学校が開校
H23.10.27	産経新聞	衛生的な災害用トイレ
H23.10.27	日本経済新聞	吟醸酒用の酵母 理研が共同開発
H23.10.28	日刊工業新聞	コラム～傘田口センター長
H23.11.1	埼玉新聞	81 団体が技術アピール 9日ものづくり大で交流会
H23.11.7	日刊工業新聞	ものづくり大で交流会
H23.11.10	毎日新聞 (埼玉欄)	災害に備えて 介護現場でも (簡易トイレ)
H23.11.15	プラスチック産業 資材新聞	東日本 FRP 工業会創立15周年展示会(SAITEC 展示、センター長紹介記事)
H23.11.16	埼玉新聞	漬物文化次世代に (漬物学校)
H23.11.17	読売新聞	簡易トイレ 災害の備えに
H23.11.23	日本経済新聞	野菜加工技術普及で提携(早大とベジテック記事中に SAITEC にについて言及)
H23.11.30	日刊工業新聞	日刊工業新聞埼玉特集 県幹部を囲む意見交換会 (記事センター長の発言記載)
H24 1.13	日刊工業新聞	薄膜硬度テスター (トライネット記事 SAITEC 言及)
H24 1.19	日本経済新聞 埼玉版	義手葬儀用 紙製で (T4 記事 SAITEC 言及)
H24 1.19	日本経済新聞 東京版	紙製義手葬儀向け開発 (T4 記事 SAITEC 言及)
H24 1.21	日本経済新聞	理研ベンチャー福島技術者受入れ研修-県技センター協力
H24 1.23	静岡新聞	加速器が生んだ新吟醸酒
H24 1.23	北海道新聞	加速器が生んだ新吟醸酒
H24 1.24	山陽新聞	加速器が生んだ新吟醸酒
H24 1.25	日経産業新聞	紙で義手、火葬可能に (T4 記事 SAITEC 言及)
H24 2.3	日経産業新聞	重イオンビームで育種革命 清酒の酵母も (理研との共同研究として)

## (2) テレビ・ラジオ報道

年月日	テレビ・ラジオ名	番組名	内容
H23.5.17	テレビ埼玉	NEWS930	工業製品の放射線量検査始まる
H23.5.24	NHK テレビ	首都圏ネットワーク	中小企業に節電グッズ展示会（セミナー展示会について）
H23.6.14	テレビ埼玉	NEWS930	省エネサポートチーム（の活動）
H23.10.17	テレビ埼玉	NEWS930	簡易トイレの開発（記者レクの様様）
H23.11.12	NHK BS	BSプレミアム	#144 うどん “コシ”を生み出す職人技

## (3) その他雑誌報道

年月日	雑誌名	内容
H23.4.28	チタン H23 4月	毒劇物を用いないチタン電解研磨法の開発
H23.5.24	レアメタル・ニュース	マグネシウム2次電池 SAITEC がV2O5正極材料開発
H23.6.16	Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol. 5 No. 2	Attempt to Increase Step Feed by Adding Ultrasonic Vibrations in Micro Deep Drilling
H23.7.5	精密工学会誌 7月号	微細深穴加工におけるシンニングによって形成されるチゼルすくい角の影響
H23.10.1	MACHINE MATE NEWS	放射線の基礎知識と埼玉県における工業製品測定
H23.10.1	MACHINE MATE NEWS	技術アドバイザーを派遣します！！
H23.10.1	表面技術 10月号	マグネシウム二次電池正極材料としての硫黄を添加した五酸化バナジウムの電極特性
H24 2.1	ぶぎんレポート	視点 県内企業の振興・発展を目指して（センター長あいさつ）
H24 2.5	精密工学会誌	微細深穴加工に対する低周波振動付加に関する研究

## 6.2.6 県内企業への企業訪問 PR

企業データを基本に、本所及び北部研究所の職員が企業を訪問し、センターの PR を行い、新規利用企業の拡大を図った。

目的：センターの今後の方向性を定める基礎資料とするとともに、センターの PR を行うこと。

期間：平成 23 年 7 月～平成 24 年 3 月

訪問企業数 143 社

## 7 起業化支援

起業家や新事業分野に進出する中小企業を技術・経営両面から支援するため、研究開発のスペースとして貸研究室22室を設置している。なお、ステージアップ室に係る事業は、入居者の退居をもって終了とした

### 7.1 入居企業

#### (1) 貸研究室(平成24年3月末現在)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	エスコウインズ(株)	川口市	産業機器	
2	(株)エプセム	川口市	産業機器	
3	(株)バーテックス	東京都港区	筆記具	
4	(有)ジャパン・ラム	広島県福山市	バイオ産業	2室利用
5	イネイブル(株)	川口市	光学機器	2室利用
6	ジェナシス(株)	川口市	バイオ産業	
7	(株)セネコム	川口市	産業機器	
8	アルスロデザイン(株)	川口市	医療機器	
9	真韻(株)	川口市	産業機器	
10	ライトロン(株)	さいたま市	光学機器	
11	エムテック化学(株)	川口市	工業製品	
12	ヒラソルバイオ(株)	さいたま市	バイオ産業	
13	(株)ハーベス	さいたま市	化学工業製品	
14	(株)ニック	川口市	産業機器	
15	(有)T4	東京都荒川区	産業製品	
16	Shimada Appli(同)	さいたま市	産業機器	
17	フルイドウェアテクノロジーズ(株)	川口市	流体チップ製品	2室利用

※ この他2室を(財)埼玉県産業振興公社が埼玉バイオプロジェクト・コア研究室として使用している。

#### (2) ステージアップ室(平成23年度実績)

No.	入居者名	住所	分野	備考
1	(株)オプセル	さいたま市	光学機器	2室利用(平成24年1月末まで入居)

### 7.2 支援実績

	支援内容	利用企業数	利用件数
1	センター研究員による技術相談	12企業	128件
2	インキュベーション・マネージャーによる経営相談	13企業	309件
3	依頼試験の利用を通じた技術支援	3企業	17件
4	開放機器の利用を通じた技術支援	6企業	58件
5	試作加工室の提供	7企業	143件
6	各種情報提供(セミナー、助成金、展示会など)	提供件数:46件	

## 8 人材育成

県内中小企業等の人材を育成するため、研修生の受け入れ等を行った。また、技術競技会における表彰を行った。

### 8.1 研修生の受け入れ

#### 8.1.1 中小企業等研究者養成研修事業

県内中小企業等の研究者及び技術者の資質の向上を図り、その技術力、研究開発力を強化することを目的として、研修生を受け入れた。

本所

期 間	受け入れ機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H23.9.7～H23.3.31	埼玉大学	1	8	金属材料・評価担当 進藤 久宜
		1	5	
		1	11	
H24.1.13～H24.1.23	製造業	1	5	生産技術担当 出口 貴久
H23.8.29～H23.9.16	東洋大学	3	各 15	環境・分析担当
本 所 計		7	74	

北部研究所

期 間	受け入れ機関名	受け入れ人数	日 数	担当者
H23.4.25～H24.3.31	食料品製造業組合	1	186	生物工学担当 海野 まりえ
H23.4.1～H24.3.23	個人	1	84	生物工学担当 海野 まりえ
H23.8.29～H23.9.22	東洋大学	1	13	生物工学担当 成澤 朋之 鈴木 康修
		1	14	
H23.8.29～H23.9.2	金沢大学	1	5	生物工学担当 樋口 誠一
		1	5	
北部研究所 計		6	307	

	受け入れ実績	
本 所	7 名	74 日
北部研究所	6 名	307 日
合 計	13 名	381 日

#### 8.1.2 インターンシップ事業

埼玉県では、学生の職業意識の醸成と県政への理解を深めることを目的として、県庁・地域機関でのインターンシップを実施している。この制度で受け入れた研修生は以下のとおりである。

本所

期 間	受け入れ機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H23.8.29～H23.9.9	埼玉大学理工学研究科	1	金属材料・評価技術全般	金属材料・評価担当

北部研究所

期 間	受け入れ機関名	人数	研 修 内 容	担当者
H23.9.5～H23.9.16	麻布大学	1	機能性の評価	樋口 誠一
H23.9.7～H23.9.15	埼玉大学	1	清酒小仕込み試験	横堀 正敏



### 8.1.3 平成 23 年度 鑄造カレッジ事業(関東地区) インターンシップ

テーマ	技術と経営力を持つ次世代鑄造人材の育成を目的に実施された鑄造カレッジにおける関東地区のインターンシップ事業を企画し、下記概要のとおり実施した。
概要	1. ねずみ鑄鉄の熱分析と接種及びその評価 2. 球状黒鉛鑄鉄の球状化処理とフェーディング及びその評価
場所	埼玉県産業技術総合センター
期間	平成 24 年 1 月 30 日～2 月 3 日
参加人数	19 名

### 8.1.4 県立高等技術専門校との連携研修

若年層のものづくりに関する関心を喚起し、次世代を担う技術者を養成するため、高等技術専門校と連携した研修事業を実施した。

実施日	対象	内 容	人数
H23.12.9	中央高等技術専門校 機械制御システム科	訓練生を対象に、北部研究所施設見学と、実機を使つての研修を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 蛍光 X 線分析装置による金属試料分析実習</li> <li>● 万能材料試験機による鋼材の引っ張り試験実習</li> <li>● 各種硬さ試験の特徴説明と硬さ試験実習</li> <li>● 精密測定機の原理の説明と測定実習</li> </ul>	17

## 8.2 技術競技会

### 8.2.1 第47回埼玉県鑄造技術コンクール

鑄造技術の向上は、企業個々の不断の努力と研鑽が重要であり、昨今の諸外国の追い上げや経済環境の急激な変化等によりその重要性は益々高くなってきている。

埼玉県鑄造技術コンクールは、鑄物製造技術の更なるレベルアップを目的に埼玉県と川口鑄物工業協同組合が共催で行っており、今年で47回目になる。課題を設定し高品質かつ正確に作ることを競っている。

今回は、ねずみ鑄鉄部門のべ18社、球状黒鉛鑄鉄部門のべ15社の参加で行われ、入賞者は次のとおりであった。

#### 受賞工場一覧

##### ねずみ鑄鉄部門

賞名	事業所名	製作者名(敬称略)
埼玉県知事賞	株式会社椿本鑄工	房野 康弘
埼玉県産業労働部長賞	株式会社マスセイ	大和田 仁
川口鑄物工業協同組合理事長賞	株式会社辻井製作所	橋本 夏樹
川口市長賞	株式会社大六鑄造	松本 浩之
社団法人日本鑄造協会会長賞	株式会社大亀鑄工所	イ コマン ムディタ
財団法人素形材センター会長賞	合名会社富岡鑄工場	富岡 和洋
川口機械工業協同組合理事長賞	富和鑄造株式会社	徳重 憲勇
川口木型工業協同組合理事長賞	不二工業株式会社	昆 佑樹
川口鑄物技術センター委員長賞	前澤工業株式会社	金澤 幸二
新日本製鐵株式会社社長賞	合名会社富岡鑄工場	浦尾 直也

##### 球状黒鉛鑄鉄部門

賞名	事業所名	製作者名(敬称略)
埼玉県知事賞	株式会社永瀬留十郎工場	須藤 昇
埼玉県産業労働部長賞	株式会社永瀬留十郎工場 櫛引工場	林 知典
川口鑄物工業協同組合理事長賞	富和鑄造株式会社	吉田 浩司
川口市長賞	前澤工業株式会社	野本 義博
川口商工会議所会頭賞	株式会社辻井製作所	森 佑司
財団法人川口工業会館理事長賞	株式会社大六鑄造	亀山 慎吾
川口鑄物技術センター委員長賞	合名会社富岡鑄工場	富岡 昭夫
埼玉鑄物技能士会会長賞	児玉鑄物株式会社	佐藤 充良
株式会社神戸製鋼所社長賞	不二工業株式会社	パワン チョンプーラット
神鋼商事株式会社社長賞	吉村工業株式会社	木村 輝一

### 8.2.2 平成 23 年度(第 54 回)埼玉県めっき技術競技会

埼玉県、埼玉県鍍金工業組合との共催により、埼玉県中小企業団体中央会、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)、産業通信社の協賛を得て、装飾用クロムめっきの部、亜鉛めっきの部、工業用クロムめっきの部、バレル亜鉛めっきの部の 4 つの部門で行われた。

今年度の参加状況は装飾用クロムめっきの部 7 社、亜鉛めっきの部 8 社、工業用クロムめっきの部 8 社、バレル亜鉛めっきの部 5 社の合計 28 社の参加があり、入賞者は以下のとおりであった。

#### 審査結果

表彰区分	部門	装飾用クロムめっきの部	亜鉛めっきの部	工業用クロムめっきの部	バレル亜鉛めっきの部
埼玉県知事賞		(株) 真工社	押尾化学工業(有)	川ロハードクロム工業(有)	(有)高松鍍金工業所
埼玉県産業労働部長賞		小松原鍍金工場 小松原 秀元	(有)池澤鍍金工業所 佐藤 友樹	新硬クローム工業(株)	カツデン(株)
埼玉県産業技術総合センター長賞		(有)小林鍍金工業	吉野電化工業(株)	ダイヤ技研(株)	(株)小林鍍金工業 小林 直樹
埼玉県中小企業団体中央会長賞		(有)今井メッキ工業所	(有)小築鍍金工業所	(株)精硬クローム工業	押尾化学工業(有)
埼玉県鍍金工業組合理事長賞		(有)渡辺鍍金工業所	(株)サン化学	(株)オーク埼玉工場	(有)小築鍍金工業所
フジサンケイビジネスアイ賞			(有)ケーエムケー	(株)ミドリ技研	
産業通信社賞			(有)阪本鍍金	吉野電化工業(株)	

### 8.2.3 平成 23 酒造年度春季清酒鑑評会

平成 24 年 3 月 13 日に北部研究所で実施した。出品点数 113 点(25 場)

県産清酒の酒質の向上と醸造技術の改善を図り、業界の発展のため鑑評会を行う。きき酒審査結果、成分分析結果の優良であった 11 製造場の杜氏を入賞とし、そのうち特に優秀であった 5 製造場の杜氏に北部研究所長より技術優秀賞を授与した。

#### 平成 23 酒造年度春季清酒鑑評会技術優秀賞(組合員名簿順)

酒造場名	酒銘	杜氏名
大瀧酒造(株)	九重桜	菅原 實
(株)小山本家酒造	金紋世界鷹	松村 英樹
横田酒造(株)	日本橋	水堂 一
(株)釜屋	力士	松本 幸治
鈴木酒造(株)	万 両	多田 一郎

### 8.3 ものづくり開発支援研修

県内中小企業等のものづくり開発を支援するため、ものづくり商品企画コース、デジタルモデリングコースの2つの研修を開催した。ものづくり商品企画コースでは商品企画、デザイン、マーケティングに関する内容を、デジタルモデリングコースではCAD/CAE/RPや三次元形状取り込みに関する内容を実施し、その技術力の向上を図った。

#### ○ ものづくり商品企画コース

年月日	研修科目名	講師名	修了者数
H23.9.8	商品プランニング	武蔵野美術大学 宮島 慎吾 氏	5
H23.10.5	マーケティング	(有)フィールド・サイド 田端 克雄 氏	4
H23.10.27	プレゼンテーション体験	(有)フィールド・サイド 田端 克雄 氏 (株)計画機構 権田 功 氏	10
H23.11.4	Web活用戦略	(株)計画機構 権田 功 氏	4
H23.11.14	デザイン表現 I (Photoshop 入門)	女子美術大学 短期大学部 佐藤 真澄 氏	3
H23.11.15	デザイン表現 I (Illustrator 入門)	女子美術大学 短期大学部 佐藤 真澄 氏	9
H24.2.20 ~21	デザイン表現 II (Photoshop & Illustrator)	女子美術大学 短期大学部 佐藤 真澄 氏	8
合計(延べ数)	7研修		43

#### ○ デジタルモデリングコース

年月日	研修科目名	講師名	修了者数
H23.7.27	ものづくり製造業の生産現場における「3DCAD・CAM・デジタイザー・3Dプリンター(積層造形機)の総合セミナー」	ソリッドワークス・ジャパン(株) 寺内 和彦 氏 (株)構造計画研究所 佐藤 直樹 氏 東京貿易テクノシステム(株) 近藤 基成 氏 (株)ファソテック 坂 義博 氏	46
H23.9.26	ソリッドモデリング(SolidWorks)(第1回)	(株)ケイジー・ラボラトリーズ 國岡 保弘 氏	7
H23.11.10	これだけは知っておきたい、はじめてのCAE体験セミナー	サイバネットシステム(株) 長澤 剛 氏	5
H23.11.16	ソリッドモデリング(SolidWorks)(第2回)	(株)ケイジー・ラボラトリーズ 國岡 保弘 氏	4
H23.12.15	3D デジタイジング/ラピッド・プロトタイプング	技術革新支援室 町田 芳明	10
H23.12.7~9	鋳造シミュレーション実習	クオリカ(株) 中社 芳博 氏	7
H24.2.23	サーフェスモデリング	Office Re. 西井 美甫 氏	4
H24.2.26	サーフェスモデリング応用	Office Re. 西井 美甫 氏	4
合計(延べ数)	8研修		87

○ 合計

研修コース	研修数	修了者数
ものづくり商品デザインコース	7	43
デジタルモデリングコース	8	87
合計(延べ数)	15	130

## 8.4 科学技術体験学習の実施

### 8.4.1 スーパーサイエンスハイスクール事業

スーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定された浦和第一女子高等学校と連携し、センター職員が講義する7つのテーマを通じて、先端技術との出会いや現場の研究者・技術者と交流を図った。

- (1) 日 時 平成23年12月7日(水)
- (2) 場 所 埼玉県産業技術総合センター
- (3) 人 数 41名(浦和第一女子高等学校 1年生)
- (4) 学習内容
  - ① 光学顕微鏡による金属組織の観察
  - ② オゾンを使う、見る、計る
  - ③ 天然水中のミネラル分の測定
  - ④ 金属の電解研磨
  - ⑤ 二酸化炭素の状態観察(超臨界流体の可視化)
  - ⑥ 情報化社会を支える暗号技術について
  - ⑦ ユニバーサルデザインについて

## 9 その他の事業

### 9.1 職員研修

職員の技術力向上に資するため、各種研修会に職員を参加させるとともに、職場研修を実施した。

本 所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
企業の目利きⅡ～生産現場の見方～	H23.6.13～16	中小企業大学校 東京校	菊池 和尚
防火管理者講習会	H23.6.16～17	さいたま市防災センター	大山 亨
第 51 回表面科学基礎講座	H23.6.28～30	東京理科大学	原田 雅典
防災管理者講習会	H23.6.29	川越中央消防署	大山 亨
金属材料技術者のための実践熱処理技術	H23.7.20～7.25	(独)雇用・能力開発機構 埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	南部 洋平
東北大学金属材料研究所 第 81 回夏期講習会	H23.7.27～28	トヨタテクノミュージアム産業技術記念館	菊池 和尚
フライス盤実践加工技術	H23.9.12～16	(独)雇用・能力開発機構 埼玉センター	矢澤 貞春
高度熟練技能者による技術・技能の伝承法	H23.9.28～30	(独)雇用・能力開発機構 埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	出口 貴久
HEMS・BEMS・XEMS の構築とそのポイント	H23.10.5	日本テクノセンター研修室	森田 寛之
HEMS が繋がり始動する	H23.10.7	明治記念館	岩崎 正太
第3回薄膜太陽電池セミナー	H23.10.24～25	ラフレさいたま	森田 寛之 清水 宏一
中小企業のための環境経営の進め方	H23.10.26～28	中小企業大学校 東京校	進藤 久宜
第 12 回EMCシンポジウムIIDA2011	H23.10.27～28	(財)飯伊地域地場産業振興センター	岡林 美由貴
非破壊検査による品質管理等に関する講習会	H23.11.1～2	日本非破壊検査協会瑞江センター	永井 寛
金属破面観察の基礎	H23.11.2	総評会館	秋山 稔
公設試験研究機関研究職員研修(座学)	H23.11.7～12	中小企業大学校 東京校	岩崎 正太
ANSYS Workbench Mechanical 入門セミナー	H23.11.8	サイバネットシステム(株)	名倉 寿夫
ANSYS Workbench Mechanical 中級セミナー	H23.11.9	サイバネットシステム(株)	名倉 寿夫
実践機械設計技術(2次元設計)	H23.12.6～8	(独)雇用・能力開発機構 埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	落合 一裕
研究開発マネジメント	H23.12.12～16	中小企業大学校 東京校	半田 隆志 森田 寛之
東日本大震災から学ぶ安全対策講習会	H23.12.13	機械振興会館	永井 寛
非破壊試験技術講習会 超音波探傷試験レベル1コース	H24.1.10～13 1.16～17	日本非破壊検査協会瑞江センター	菊池 和尚
公設試験研究機関研究職員研修(現場実習)	H24.1.23～27	中小企業大学校 東京校	鈴木 浩之
能力開発セミナー「金属組織の解説とトラブル解析」	H24.2.15～17	(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター(高度ポリテクセンター)	篠崎 誠 原田 雅典
組込み Android システム開発技術	H24.2.15～17	雇用・能力開発機構 高度職業能力開発促進センター	本多 春樹
設計ツールを活用した3次元モデルデータ構築技術(サーフェス編)	H24.2.22～24	(独)雇用・能力開発機構 埼玉職業能力開発促進センター(ポリテクセンター埼玉)	落合 一裕

北部研究所

研修機関・講座名	期 間	場 所	研修者
アジレント GC・LC セミナー	H23.5.11,12	アジレント・テクノロジー(株)	南澤 賢
材料解析テクノフォーラム	H23.6.10	品川グランドセントラルタワー	常見 崇史
食品分析技術セミナー	H23.10.18	時事通信ホール	鶴菌 大
ミリポア・クロマト講習会	H23.11.8	品川インターシティホール	富永 達矢
ANSYS Workbench Mechanical 入門セミナー	H23.11.8	サイバネットシステム(株)	大木 健司
ANSYS Workbench Mechanical 中級セミナー	H23.11.9	サイバネットシステム(株)	大木 健司
工業イノベーションスクール「機能性食品の商品開発」	H23.10.13,27 11.10	芝浦工大	常見 崇史 樋口 誠一 南澤 賢 成澤 朋之
工業イノベーションスクール「機能性食品による生活習慣病予防」	H23.11.18,25	芝浦工大	常見 崇史 樋口 誠一 成澤 朋之
プロセス評価・分析技術セミナー	H23.12.6	品川グランドセントラルタワー	常見 崇史
酒造り現場実習	H24.1.9～13	(株)矢尾本店	南澤 賢
バイオ・ナノ産学連携セミナー	H24.1.20	東洋大学	常見 崇史 樋口 誠一
公設試験研究機関職員研修(現場実習)	H24.1.23～27	中小企業大学校 東京校	成澤 朋之
酒造研修	H24.1.23～27	横田酒造	鈴木 康修
能力開発セミナー「最大実体公差方式の解釈とその測定技術の実践(機能ゲージと三次元測定機による評価)」	H24.3.14～15	(独)高齡・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター(高度ポリテクセンター)	大木 健司

職場研修

名 称	期 日	会 場	参加人数
競争的資金説明会 話者:技術革新支援室 影山和則 試験研究室 関根正裕 企画・総務室 巻島秀男	H23.5.11	埼玉県産業技術総合センター 6A会議室	15
埼玉から世界に飛び出す企業の技術支援について 話者:企画・総務室 巻島秀男	H24.1.12	埼玉県産業技術総合センター 4ABC会議室	31
埼玉から世界に飛び出す企業の技術支援について 話者:企画・総務室 巻島秀男	H24.1.17	埼玉県産業技術総合センター 4AB会議室	24
情報セキュリティ出前講座 講師:システム管理課 関 主任	H24.2.24 H24.2.28	埼玉県産業技術総合センター 4ABC会議室	59
競争的資金説明会 話者:企画・総務室 巻島秀男	H24.3.8	埼玉県産業技術総合センター北 部研究所会議室	10
競争的資金説明会 話者:企画・総務室 巻島秀男	H24.3.12	埼玉県産業技術総合センター 6A会議室	9

## 9.2 顧客満足度(CS) アンケート

平成 16 年 1 月から利用者の声を生かした事業の充実を図るため、北部研究所を含め顧客満足度(CS)調査を実施している。

アンケート対象は、依頼試験、技術相談、開放機器等で来所した利用者としている。

アンケート期間は平成 23 年 6 月 7 日から 8 月 31 日とした。回収分の集計結果の概要は次のとおりである。

- (1) 回答数 252 件
- (2) 依頼試験

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の対応	74%(89 件)	7%(8 件)	12%(14 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	11%(10 件)
サービス	61%(74 件)	7%(9 件)	9%(11 件)	2%(3 件)	0%(0 件)	20%(24 件)

- (3) 機器開放

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の対応	81%(86 件)	8%(8 件)	8%(9 件)	0%(0 件)	2%(2 件)	1%(1 件)
サービス	65%(69 件)	12%(13 件)	11%(12 件)	2%(2 件)	0%(0 件)	9%(10 件)

- (4) 技術相談

	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答
職員の対応	88%(22 件)	4%(1 件)	4%(1 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	4%(1 件)
サービス	84%(21 件)	4%(1 件)	4%(1 件)	0%(0 件)	0%(0 件)	8%(2 件)

- (5) 拡充ニーズのある分野(※上位 3 つを記載)

	1	2	3
依頼試験	分析 16%(21 件)	測定及び検査 11%(14 件)	材料試験 10%(13 件)
機器開放	分析機器 12%(13 件)	表面観察機器 9%(10 件)	精密測定機器 6%(7 件)
			電気・電子測定機器 6%(7 件)

## 9.3 運営委員会の開催

埼玉県産業技術総合センターの事業・研究業務の効果的な運営を図るため、外部有識者からなる「埼玉県産業技術総合センター運営委員会」を 2 回開催し、業務内容等を検討した。

### 9.3.1 開催状況

- (1) 第 1 回運営委員会
  - (ア) 日 時:平成 23 年 11 月 1 日(火)
  - (イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
  - (ウ) 議 題
    - ① SAITEC の保有技術と企業支援について
    - ② その他
  - (エ) 参加人数  
運営委員 6 人 埼玉県 12 人 計 18 人
- (2) 第 2 回運営委員会
  - (ア) 日 時:平成 24 年 3 月 14 日(水)
  - (イ) 場 所:埼玉県産業技術総合センター 5 階交流サロン
  - (ウ) 議 題
    - ① 今年度の活動報告と来年度の方針について
    - ② その他
  - (エ) 参加人数  
運営委員 4 人 埼玉県 11 人 計 15 人



### 9.3.2 運営委員

東洋大学  
伊藤鉄工(株)  
埼玉工業大学  
小原歯車工業(株)  
(独)産業技術総合研究所  
田中製麺(株)  
東京電機大学  
(株)東立製作所  
東洋大学

工業技術研究所長  
代表取締役  
准教授  
代表取締役  
産学・地域連携室長  
代表取締役  
教授  
取締役社長  
教授

(敬称略, 順不同)  
石曾根 孝之  
伊藤 光雄(副委員長)  
榎本 勝  
小原 敏治  
清水 聖幸  
田中 孝  
富田 英雄(委員長)  
松川 ヨシ子  
松元 明弘